大船渡市「復興に関する市民意識調査」結果　報告書

平成 25 年 10 月 24 日

ご覧いただくにあたって

1）各グラフの数字は、ことわりがないかぎり、有効回答 2, 825（※平成 25 年 10 月 4 日までに回収された回答票）に対するパーセントです。
2）小数点以下を四捨五入しているため、合計は 100%にならないこともあります。
3）複数回答形式の設問では、選択肢ごとに有効回答 2,825 に対するパーセントを表示しています。合計は 100%ではありません。
4）地区別のクロス集計の「市外」は、母数が少ないため、岩手県内・県外をあわせて集計しています。

１．調査の概要

（１）調査の目的と方法

●調査の目的

・ 本意識調査は、これまで(復興計画期間前期：平成 23～25 年度)取り組んできた復興施策に対する市民の意識を把握し、次年度以降において、市民と行政の協働によって本格化させる復興施策に反映させるために実施する。

●調査項目

・回答者の属性
・「市民生活の復興」について
・「産業・経済の復興」について
・「都市基盤の復興」について
・「防災まちづくり」について
・復興の本格化に向けて
・復興推進に向けてのご意見、ご要望など

●調査対象

・18 歳以上の市内に在住する市民（住民基本台帳から 5,990 人抽出）及び市外に避難している市民（128 人）を対象とした。
・抽出にあたっては、地区ごとの人口に応じて抽出率 8.24%を用いて発送数を設定した。

●配布回収方法

・郵送配布、郵送回収

●調査期間

・平成 25 年 8 月 26 日（月）～9 月 15 日（日）

●配布・回収状況

配布：6,088 票　（発送数 6,118 票から宛先不明などで配達されなかった 30 票を除く）
回収：2,839 票　（回収率 46.6%　※平成 25 年 10 月 4 日現在）

（２）本調査の標本数の設定について

- 市内10地区の地区別クロス集計を想定し､以下の考え方に基づき､標本数を設定した。
- まず、地区別のクロス集計のみを想定し、最低限の必要回収数に回収率を約 50%（過去の市民意識調査の回収率を参考）として発送数を算出した（算出式は参考資料参照）。
- その結果、統計的に必要な回収数を得るための発送数は、約 13,000 票となった。
- この発送数は、人口約 3.9 万人の大船渡市には過大な票数となることから、最も人口が少ない吉浜地区において、一般的に推計するために必要とされる票数である 100 票の回収を目指すこととして、再度発送数を求め、約 6000 票を発送することとした。

表１　統計的に必要な回収数と発送数

	18才以上人口 H25.5.31	1 カテゴリー抽出率	統計的に必要な回収数	仮定 回収率	統計的に必要な発送数
盛町	3,092	21.85%	676	0.50	1,352
大船渡町	7,597	10.22%	776	0.50	1,552
末崎町	3,879	18.22%	707	0.50	1,414
赤崎町	3,895	18.16%	707	0.50	1,414
猪川町	4,041	17.62%	712	0.50	1,424
立根町	3,539	19.63%	695	0.50	1,390
日頃市町	1,775	32.75%	581	0.50	1,162
三陸町綾里	2,331	27.05%	631	0.50	1,262
三陸町越喜来	2,244	27.81%	624	0.50	1,248
三陸町吉浜	1,214	41.59%	505	0.50	1,010
合計	33,607		6,614		13,228

※カテゴリー抽出率

カテゴリーを設定した場合に統計的に必要となる票数を求める抽出率。全ページの公式で算出する。

上表では、10 地区ごとに統計的に必要となる票数を求めている。

表 2　最低限必要な標本数と発送数（追加票数は母集団の合計値と発送数の割合で各地区に案分）

	18歳以上人口 H25.5.31	有効票抽出率	有効抽出数	想定回収率	仮定発送数	追加票数	補正発送数
盛町	3,092	8.24%	255	0.50	510	42	**552**
大船渡町	7,597	8.24%	626	0.50	1,252	104	**1,356**
末崎町	3,879	8.24%	320	0.50	640	53	**693**
赤崎町	3,895	8.24%	321	0.50	642	53	**695**
猪川町	4,041	8.24%	333	0.50	666	55	**721**
立根町	3,539	8.24%	292	0.50	584	48	**632**
日頃市町	1,775	8.24%	146	0.50	292	24	**316**
三陸町綾里	2,331	8.24%	192	0.50	384	32	**416**
三陸町越喜来	2,244	8.24%	185	0.50	370	30	**400**
三陸町吉浜	1,214	8.24%	100	0.50	200	19	**219**
合計	33,607		2,770		5,540		**6,000**

※吉浜地区で 100 の標本数を確保するとした場合の抽出率は 8.24%（100÷1,214＝0.0824）となることから、抽出率を 8.24%と仮定して全地区にあてはめて必要回収数を想定して発送数を求めた。

＜参考資料　統計的に必要となる標本数の算出方法＞

通常、アンケート調査を行う際には、「アンケート調査結果が住民の意見と一致する」ために、無作為に抽出することを前提に以下のような統計的な配慮で抽出数を算定します。

まず調査に求められる精度を設定し、その精度を満たすための抽出率を算出してから回収目標サンプル数を設定するのが一般的な手順となっています。

一般的には、相対誤差 20%以下、信頼度 95%とし、これらを満たすような抽出率を算出して、回収目標サンプル数を設定します。

標本抽出率・相対誤差・集計カテゴリー数の関係式

標本抽出率・相対誤差および集計カテゴリー数に関する統計理論により導かれた関係式は、次式によって表されます。

$$\mathrm{RSD}(\mathrm{A}) = \mathrm{K}\sqrt{(\mathrm{ZK}-1)\cdot\frac{1-r}{r}\cdot\frac{1}{N}}$$

$$r = \frac{n}{N}$$

ＲＳＤ（Ａ）＝相対誤差
Ｋ＝信頼度により定まる係数
ＺＫ＝カテゴリー数
ｒ＝標本抽出率
Ｎ＝母集団総数
ｎ＝有効サンプル数

この関係式によると、信頼度により定まる係数：Ｋ、母集団総数：Ｎ、カテゴリー数：ＺＫが与えられれば、抽出率：ｒと相対誤差：ＲＳＤ（Ａ）との関係式が確定し、信頼性の確保に必要な抽出率が算出されます。

この関係式を用いて、相対誤差ＲＳＤ（Ａ）が 20%以下になるような標本抽出率を算出し、回収目標サンプル数を設定します。

以上の考え方に基づき、本調査における数値を、次のように設定します。

・ＲＳＤ（Ａ）＝20.0%
・Ｋ＝1.96（相対誤差 20%以下で信頼度 95%の場合の係数）
・ＺＫ＝10*m（10 地区ごととそれに加えたｍ段階の再区分の意向等が把握できる値）

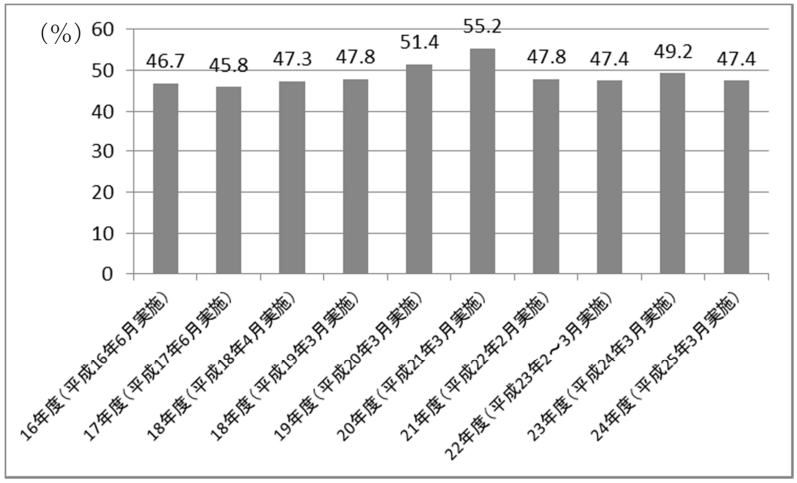
（３）本調査の回収率について

- 本調査の回収率は 46.6%、有効回収率は 46.4%であった。
- 平成 16 年度から毎年実施している大船渡市市民意識調査の平成 24 年度の回収率は 47.4%であり、同程度の回収率を得ることができた。
- 地区別の回収率は下表のとおりで、赤崎町、盛町で 50%を超えており、三陸町吉浜で 40%を下回っている。
- 三陸町吉浜については、一般に統計上必要とされる 100 票を下回る回収票数ではあるが、80 票を超えており、集計結果は、地区住民の概ねの意向を反映したものであると考えられる。

表 3 地区ごとの回収率（平成 25 年 10 月 4 日現在）

	配布数	回収数	回収率	無効票数	有効回収数	有効回収率
盛町	553	277	50.1%	0	277	50.1%
大船渡町	1,352	596	44.1%	3	593	43.9%
末崎町	688	328	47.7%	0	328	47.7%
赤崎町	690	347	50.3%	0	347	50.3%
猪川町	710	326	45.9%	1	325	45.8%
立根町	631	288	45.6%	0	288	45.6%
日頃市町	316	145	45.9%	2	143	45.3%
三陸町綾里	409	177	43.3%	0	177	43.3%
三陸町越喜来	401	189	47.1%	2	187	46.6%
三陸町吉浜	214	81	37.9%	0	81	37.9%
市内合計	5,964	2,754	46.2%	8	2,746	46.0%
市外	124	58	46.8%	0	58	46.8%
不明	—	27	—	6	21	—
合計	6,088	2,839	46.6%	14	2,825	46.4%

参考 大船渡市市民意識調査の回収率



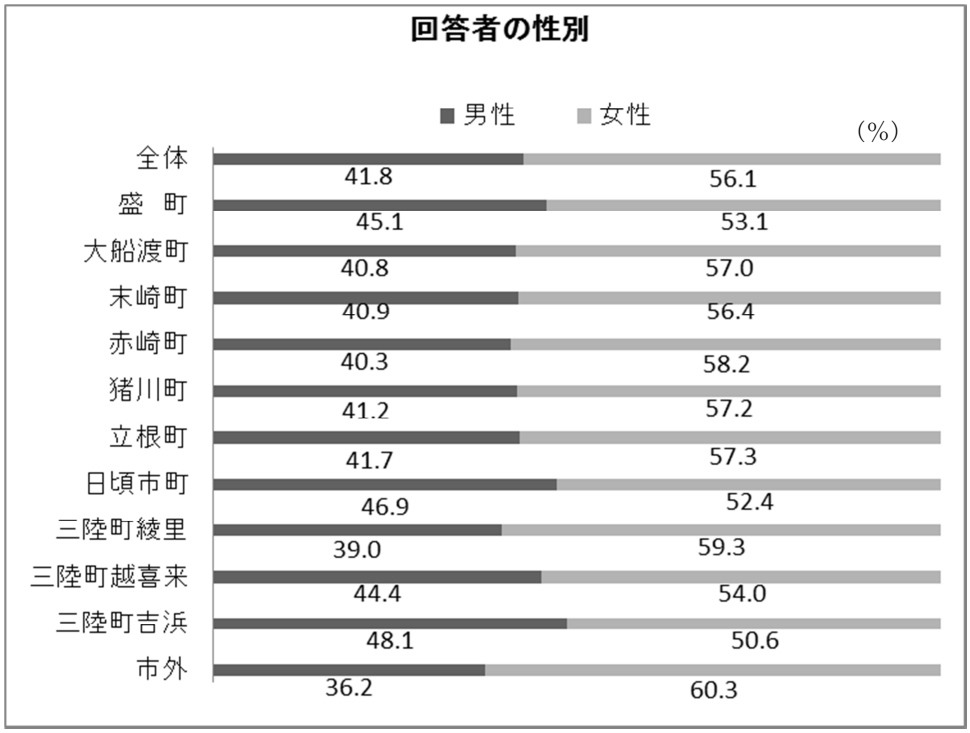
２．回答者の属性

◇設問

問１　あなたの性別をお答えください。

◇結果

- 男性が 41.8%、女性が 56.1%を占めている。
- 盛町、日頃市町、三陸町吉浜では男性の回答者が比較的多く、三陸町綾里、市外では、女性の回答者が比較的多い。

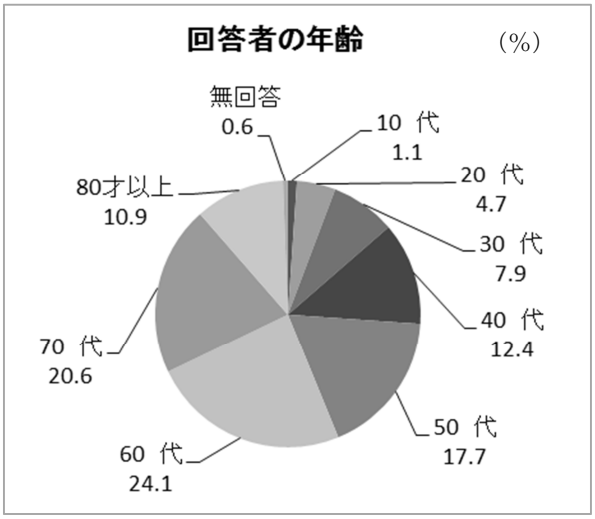


◇設問

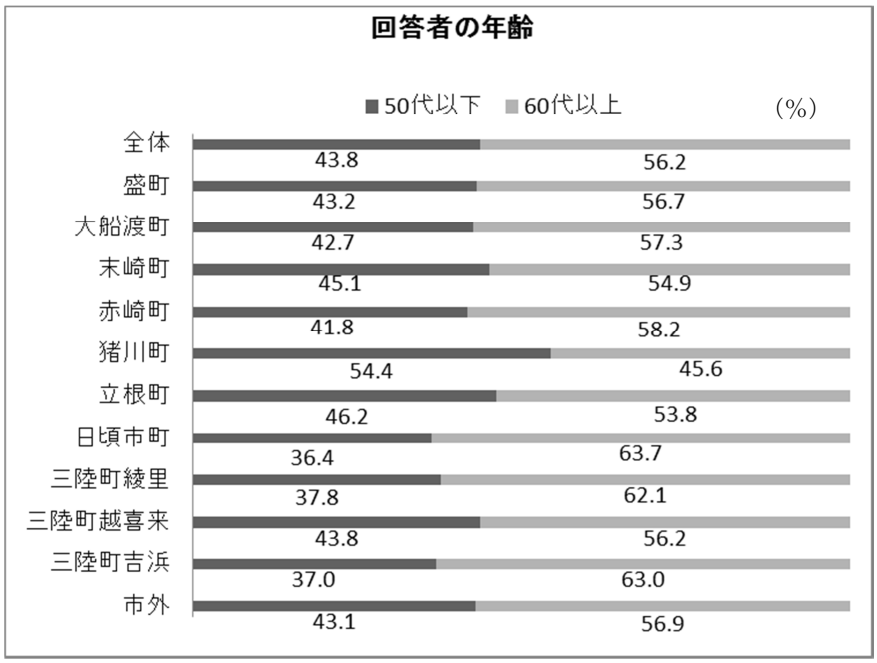
問２　あなたの年齢をお答えください。

◇結果

・ 60 代が最も多く 24.1％、次いで 70 代が 20.6％、50 代が 17.7％となっている。



・ 回答者の年齢を 60 代以上と 50 代以下でみると、56.2％が 60 代以上の回答者となっている。
・ 地区別では日頃市町、三陸町綾里、三陸町吉浜で 60 代以上の回答者が 60％以上を占めている。
・ 猪川町では、50 代以下の回答者が 54.4％を占めている。

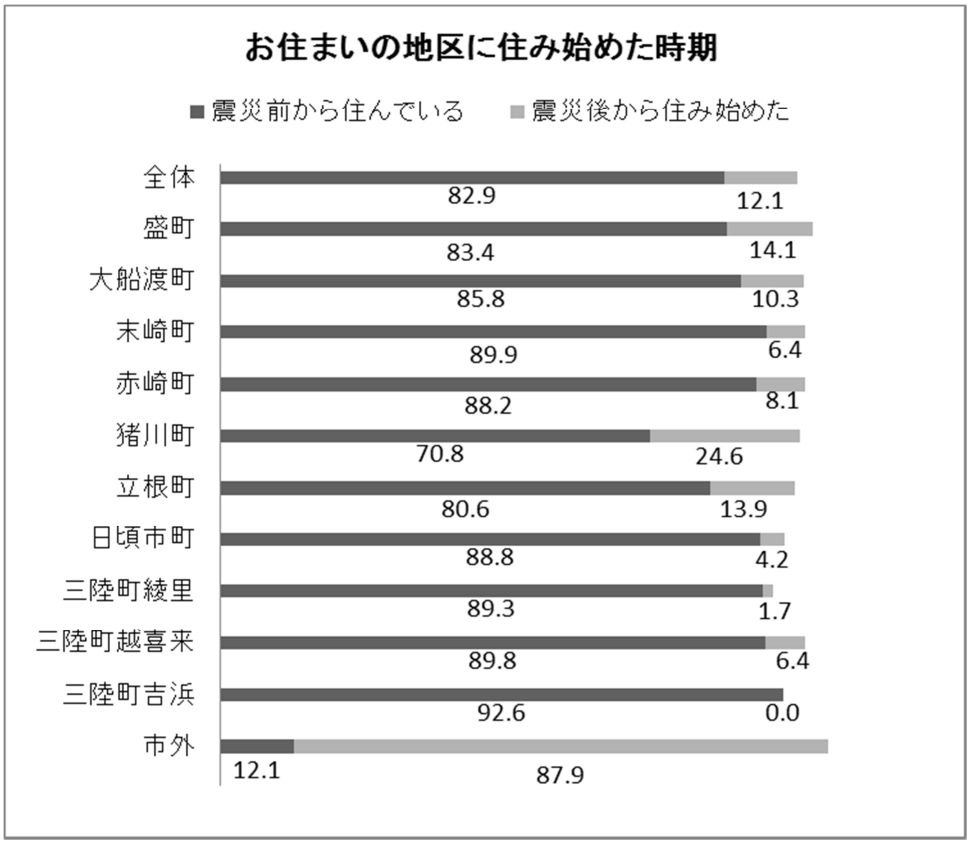


◇設問

問３　お住まいの地区をお答えください。
問４　お住まいの地区には、東日本大震災の前から住んでいましたか。

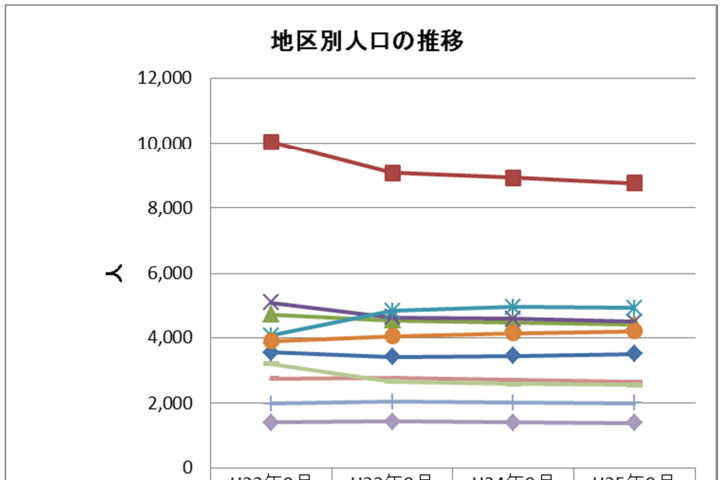
◇結果

- 震災前も後も同じ地区に住んでいる割合は 82.9%、震災後に前と違う地区に住み始めた割合は 12.1%である。
- 末崎町、赤崎町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来、三陸町吉浜では、震災前も後も同じ地区に住んでいる割合が比較的高いが、盛町、猪川町、立根町では、震災後に住み始めた割合が比較的高い。
- 特に猪川町では、回答者の約 1/4 が震災後から住み始めたと回答している。
- 猪川町では震災前よりも人口が約2割増加している。市内に建設された応急仮設住宅戸数も猪川町が最も多く、全体の約 1/4 が建設されている。
- このことから、他地区で被災し、猪川町の応急仮設住宅に入居した世帯が多いことを反映した結果であると推察できる。
- また、市外に避難している回答者の 12.1%が震災前から住んでいると回答しているが、これは高齢者等が市外にもともと住んでいた子世帯や親族宅に避難しているケースが想定される。



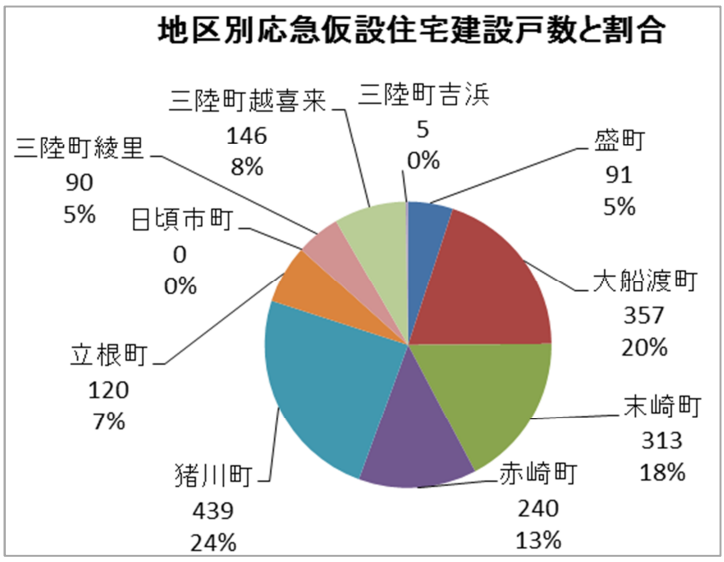
＜参考　地区別の人口推移と応急仮設住宅設置戸数＞

- 震災前後の地区別の人口推移をみたものが右の折れ線グラフである。
- 大船渡町、末崎町、赤崎町、三陸町越喜来では震災後の人口減少が著しいが、猪川町、立根町では人口が増加している。
- 日頃市町は震災後、人口が増加したものの、現在では被災前と同程度の人口となっている。
- 盛町は震災後に人口減少したものの、現在は回復傾向にある。
- 三陸町綾里、三陸町吉浜は、震災前後で大きな変化はないが、現在は減少傾向にある。



	H22年9月末	H23年9月末	H24年9月末	H25年9月末
盛町	3,554	3,425	3,452	3,505
大船渡町	10,047	9,082	8,930	8,765
末崎町	4,718	4,541	4,461	4,416
赤崎町	5,076	4,630	4,580	4,486
猪川町	4,067	4,820	4,939	4,920
立根町	3,903	4,048	4,148	4,196
日頃市町	1,986	2,047	2,009	1,999
三陸町綾里	2,754	2,767	2,706	2,644
三陸町越喜来	3,213	2,662	2,592	2,564
三陸町吉浜	1,419	1,439	1,413	1,401

- 市内に建設された応急仮設住宅は 1,801 戸であるが、地区別に戸数と全体戸数に対する割合をみたものが右のグラフである。
- 猪川町に建設された応急仮設住宅は 439 戸と、市全体に建設された戸数の 24%を占めている。



（上段：戸数　下段：全体戸数に対する割合）

３．「①市民生活の復興」について

【市民生活の復興の方針】

方針①　被災者の早期の住宅再建を支援するほか、地域コミュニティーの維持・形成に配慮した、安全な生活環境を確保します。

方針②　市民が安心して暮らせるよう保健、医療、介護、福祉など生活に密接に関係する各種サービスの充実を図ります。

方針③　災害廃棄物を適正に処理します。

方針④　被災した教育施設の再建などにより、教育機会の確保を図ります。

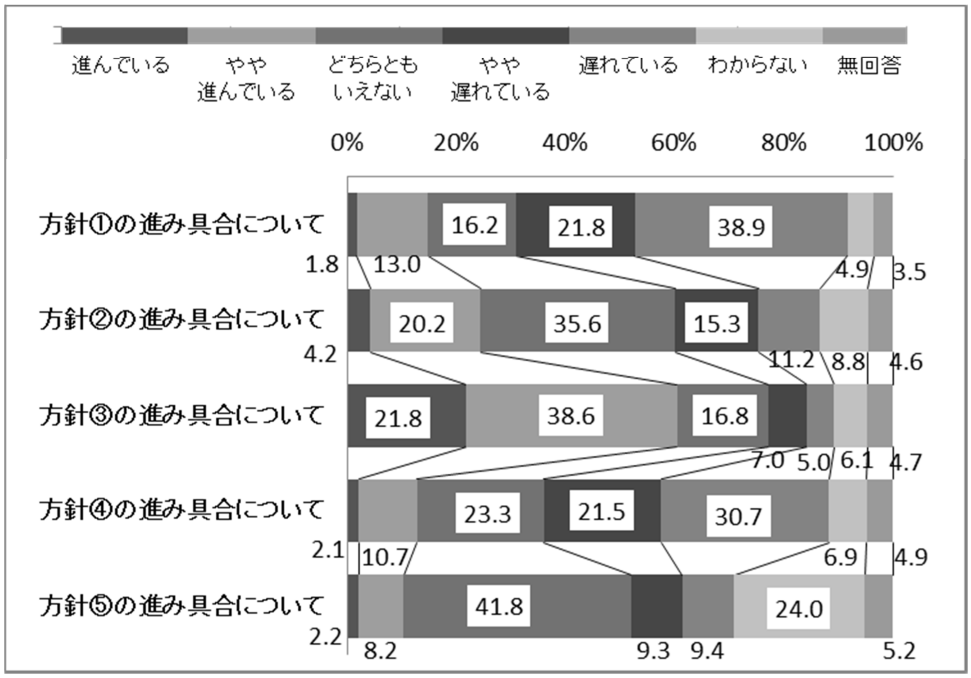
方針⑤　市民共有の財産である歴史・文化資源を活用して、うるおいと安らぎをつくりだします。

◇設問

問５　市民生活に係る前期（平成 23～25 年度）の復興の進み具合についてお答えください。

◇結果

- 進んでいると評価されているのは、「方針③　災害廃棄物の処理」である。
- どちらとも言えないと評価されているのは、「方針②　保健、医療、介護、福祉など各種サービスの充実」「方針⑤　歴史・文化資源の活用」である。
- 遅れていると評価されているのは、「方針①　住宅再建支援」「方針④　教育施設の再建」である。



■復興の進み具合の５段階評価

・　復興の進み具合の評価を、5段階で点数化してその平均値を方針ごとの評価点としたものが、以下の5段階評価である。

＜評価点算出の方法＞

・復興計画の4つの柱ごとに、「進んでいる」を5、「やや進んでいる」を4、「どちらともいえない」を3、「やや遅れている」を2、「遅れている」を1、「わからない」を0として、票数とそれぞれの評価数を乗じて点数を算出して合計し、5～1の評価を行った票数で除して評価点を算出した。

■「市民生活の復興」の地区別５段階評価

・　全体では、「方針③　災害廃棄物の処理」が 3.5 と比較的高い評価となっている一方、「方針①　住宅再建支援」「方針④　教育施設の再建」の評価が低くなっている。
・　「方針①　住宅再建支援」は、末崎町、赤崎町で低い評価となっている。
・　「方針②　医療、介護、福祉など各種サービスの充実」は、市内各地区でほぼ同程度の評価となっているが、三陸町綾里、市外で比較的高い評価となっている。
・　「方針③　災害廃棄物の処理」は、猪川町、日頃市町、市外で比較的高い評価となっている。
・　「方針④　教育施設の再建」は、三陸町綾里、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
・　「方針⑤　歴史・文化資源の活用」は、市外で比較的高い評価となっているが、三陸町越喜来では比較的低い評価となっている。

「市民生活の復興」の5段階評価（地区別）

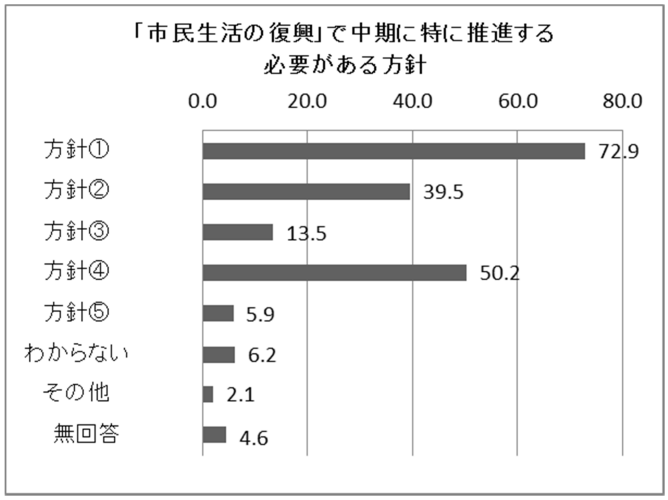
地区	方針① 住宅再建支援	方針② 医療、介護、福祉など各種サービスの充実	方針③ 災害廃棄物の処理	方針④ 教育施設の再建	方針⑤ 歴史・文化資源の活用
全体	2.0	2.7	3.5	2.1	2.6
盛町	2.1	2.8	3.6	2.1	2.7
大船渡町	2.1	2.8	3.6	2.2	2.6
末崎町	1.8	2.8	3.4	2.0	2.5
赤崎町	1.8	2.7	3.6	2.0	2.6
猪川町	2.0	2.8	3.7	2.0	2.6
立根町	2.0	2.7	3.5	2.1	2.6
日頃市町	2.3	2.7	3.7	2.1	2.7
三陸町綾里	2.1	2.9	3.5	2.6	2.7
三陸町越喜来	2.0	2.7	3.5	2.1	2.4
三陸町吉浜	2.2	2.8	3.4	2.5	2.7
市外	2.5	3.1	4.3	2.7	3.0

◇設問

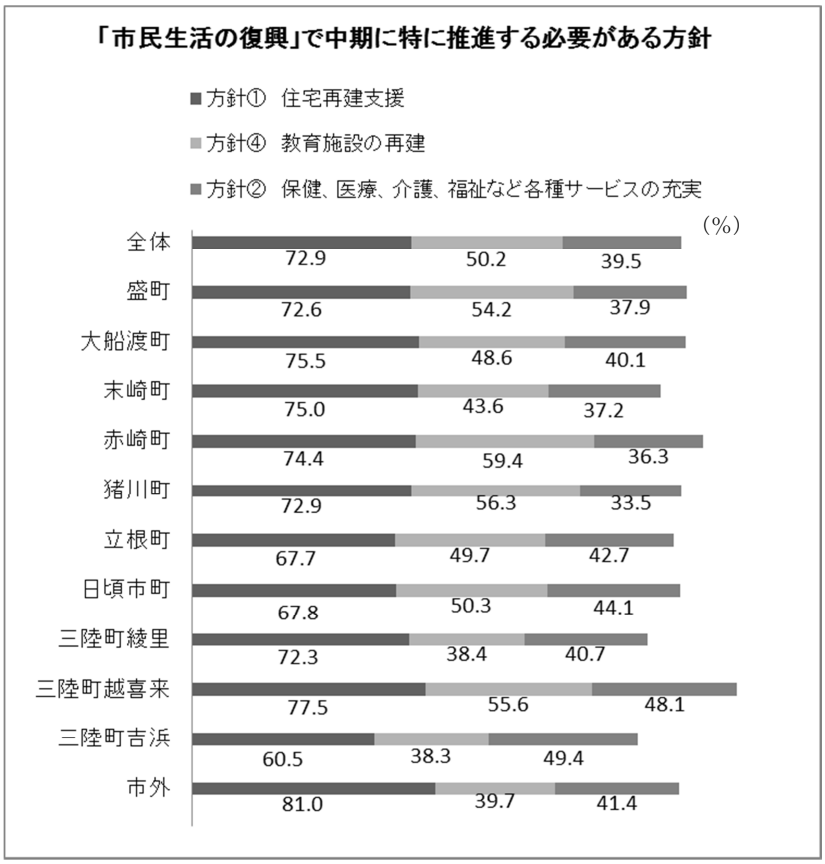
問６（１）　復興の本格化に向けて、特に推進する必要があるとお考えになる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 最も推進する必要があるとされているのは「方針①　住宅再建支援」で 72.9%、次いで「方針④　教育施設の再建」が 50.2%、「方針②　医療、介護、福祉など各種サービスの充実」が 39.5%となっている。
- その他の具体的内容（56 人が記載）としては、子どもたちの運動場の確保、住宅再建などがあげられている。



- 特に推進する必要性が高いとされた３つの方針について、地区別の割合をみたものが右のグラフである。
- 「方針①　住宅再建支援」は、大船渡町、末崎町、赤崎町、三陸町越喜来と市外で重視されている。
- 「方針④　教育施設の再建」は、盛町、赤崎町、猪川町、三陸町越喜来で重視されている。
- 「方針②　保健、医療、介護、福祉など各種サービスの充実」は、立根町、日頃市町、三陸町越喜来、三陸町吉浜で重視されている。

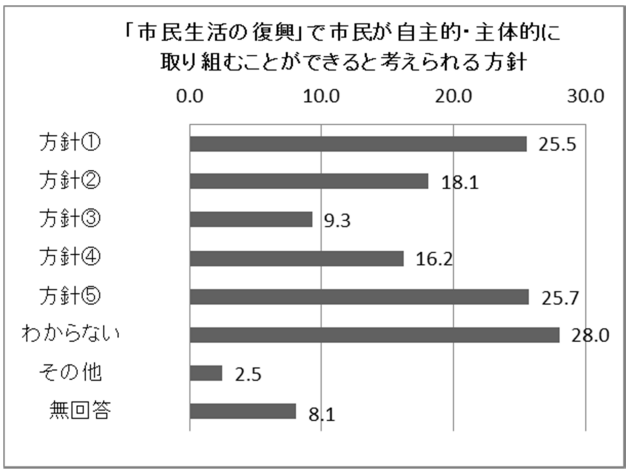


◇設問

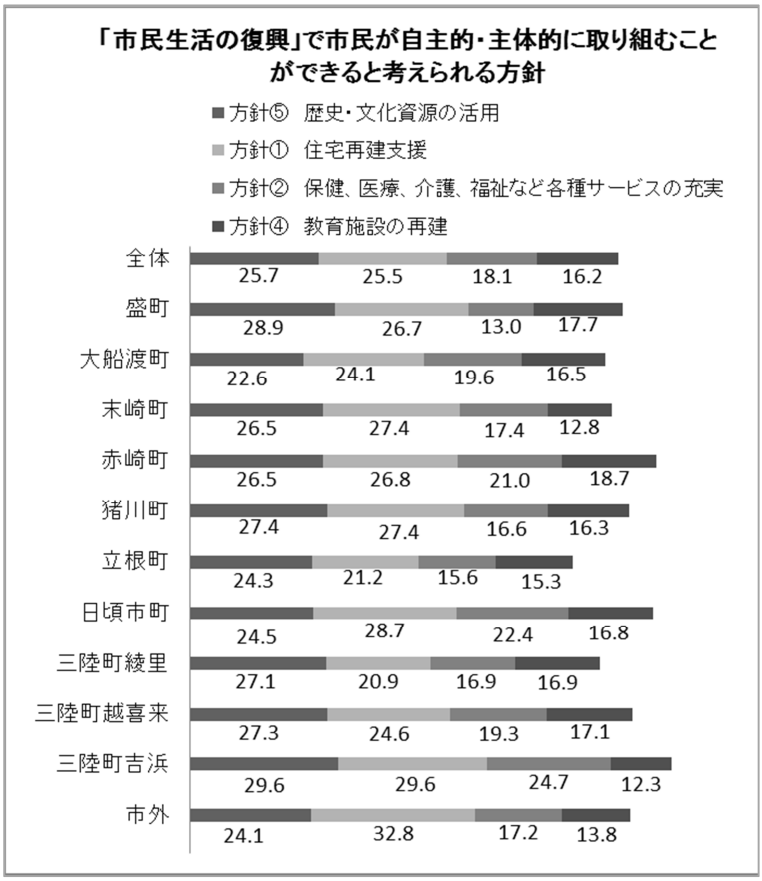
問６（２）　市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針は、「わからない」が最も多く 28.0％となっているが、「方針⑤ 歴史・文化資源の活用」が 25.7％、「方針① 住宅再建支援」が 25.5％と、ほぼ同じくらいの割合となっている。
- 次いで「方針② 保健、医療、介護、福祉など各種サービスの充実」が 18.1％、「方針④ 教育施設の再建」が 16.2％となっている。
- 問6（1）の結果と合わせると、住宅再建は、市民と市がともに取り組むべき方針として認識されていることがわかる。
- その他の具体的内容（59 人が記載）としては、市が進めるべきとの回答が多い（31 人）が、コミュニティーの維持、被災者の自立があげられている。



- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられている方針4つについて、地区別の割合をみたものが、右のグラフである。
- 「方針⑤ 歴史・文化資源の活用」は、盛町、三陸町吉浜で市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針① 住宅再建支援」は、末崎町、猪川町、日頃市町、三陸町吉浜、市外で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針② 保健、医療、介護、福祉など各種サービスの充実」は、赤崎町、日頃市町、三陸町越喜来、三陸町吉浜で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針④ 教育施設の再建」は、赤崎町で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。



◇設問

問６（３）　市民生活の復興へのご意見やご提案をお書きください。（自由回答）

◇結果

- 716 人（回収票の 25.2%）の方々から、ご意見・ご提案をいただいた。
- うち 332 人が住宅再建、119 人が教育施設の再建に係る内容について記載していた。

市民生活の復興への主なご意見、ご要望の概要

項　目	主なご意見などの概要
方針① 住宅再建支援やコミュニティーの維持・形成などについて	・災害公営住宅の早期建設を ・防災集団移転促進事業の推進を ・買物の利便性確保や上下水道の整備など生活環境の向上を
方針② 保健、医療、介護、福祉など各種サービスの充実について	・高齢化に対応した介護など福祉サービスの向上を ・仮設住宅の高齢者などへの心のケアを ・入院設備のある病院の確保を
方針③ 災害廃棄物の処理について	・まだ残っているガレキの処理を
方針④ 教育施設の再建などについて	・学校の校庭の応急仮設住宅の早期解消、子どもたちの運動環境の整備を
方針⑤ 歴史・文化資源の活用について	・方針⑤の優先度は低い
市への要望など	・道路整備の推進を ・復興の進捗のスピードアップを ・進捗がわかるように市民に情報提供を

４．「②産業・経済の復興」について

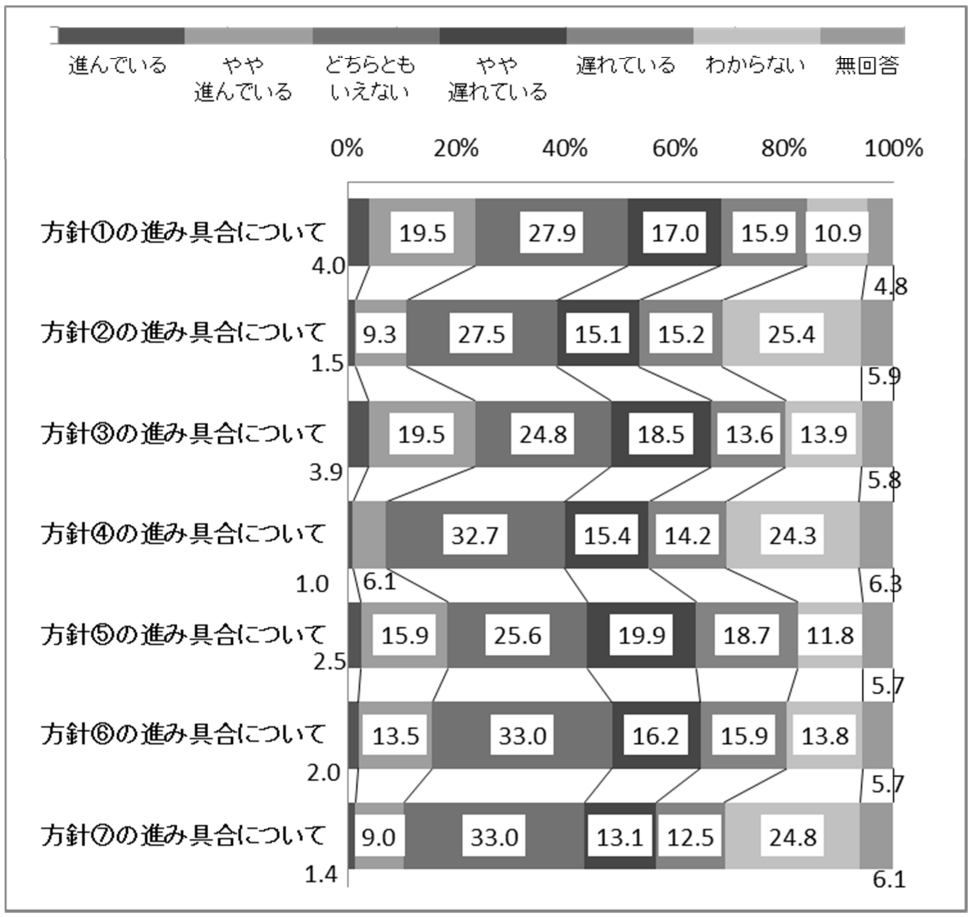
【産業・経済の復興の方針】
方針①　経済活動の早期再建を支援し、雇用の確保を図ります。
方針②　産業基盤を再建します。
方針③　水産業の早期再建を図ります。
方針④　農林業のあり方を検討し、振興策を見出します。
方針⑤　商業の早期再建を図ります。
方針⑥　観光産業の早期再建を図ります。
方針⑦　地場産業の活力により、産業・経済を活性化します。

◇設問

問７　産業・経済に係る前期（平成 23～25 年度）の復興の進み具合についてお答えください。

◇結果

- 全体として進んでいるという評価は少ない。
- 「方針①　雇用の確保」「方針③　水産業の早期再建」は、比較的進んでいるという評価がみられる。
- 遅れていると評価されているのは、「方針⑤　商業の早期再建」である。
- 「方針④　農林業のあり方検討」「方針⑥　観光産業の早期再建」「方針⑦　地場産業による活性化」は、わからないという評価が多い。



■「産業・経済の復興」の地区別５段階評価

- 全体では、「方針①　雇用の確保」「方針③　水産業の早期再建」が比較的高い評価となっている。
- 「方針①　雇用の確保」は、末崎町、三陸町綾里、市外で比較的高い評価となっているが、三陸町越喜来で比較的低い評価となっている。
- 「方針②　産業基盤の再建」は、市内各地区ともほぼ同じ評価であるが、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針③　水産業の早期再建」は、三陸町越喜来で比較的低い評価となっているが、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針④　農林業のあり方検討」は、三陸町越喜来で比較的低い評価となっているが、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針⑤　商業の早期再建」は、市内各地区ともほぼ同じ評価であるが、市外でやや高い評価となっている。
- 「方針⑥　観光産業の早期再建」は、日頃市町、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針⑦　地場産業による活性化」は、市外で比較的高い評価となっているが、三陸町吉浜では比較的低い評価となっている。

「産業・経済の復興」の5段階評価（地区別）

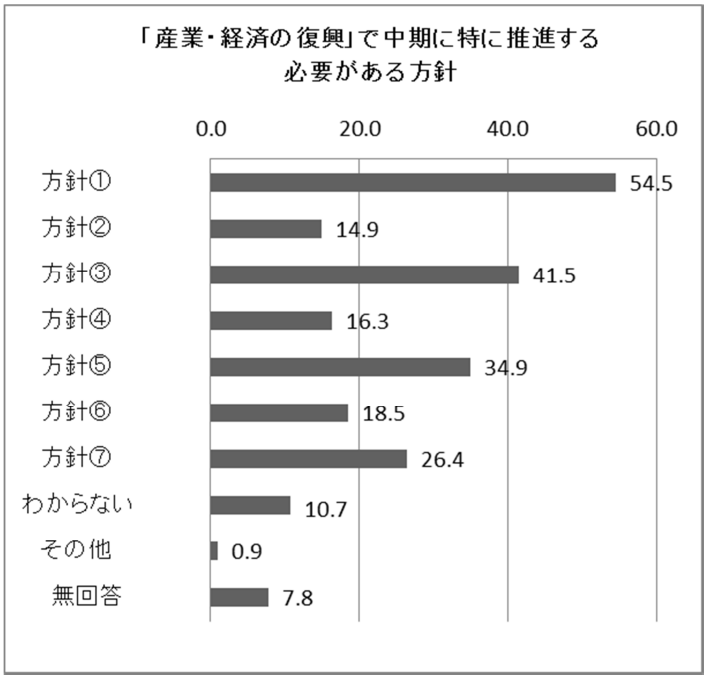
地区	方針① 雇用の確保	方針② 産業基盤の再建	方針③ 水産業の早期再建	方針④ 農林業のあり方検討	方針⑤ 商業の早期再建	方針⑥ 観光産業の早期再建	方針⑦ 地場産業による活性化
全体	2.6	2.3	2.6	2.3	2.4	2.4	2.4
盛町	2.6	2.2	2.6	2.2	2.4	2.5	2.4
大船渡町	2.6	2.3	2.5	2.3	2.3	2.4	2.4
末崎町	2.8	2.4	2.7	2.3	2.5	2.5	2.4
赤崎町	2.7	2.3	2.6	2.2	2.4	2.4	2.4
猪川町	2.5	2.4	2.7	2.3	2.5	2.5	2.5
立根町	2.6	2.4	2.6	2.3	2.4	2.4	2.5
日頃市町	2.5	2.2	2.5	2.2	2.4	2.6	2.3
三陸町綾里	2.8	2.3	2.7	2.4	2.5	2.4	2.5
三陸町越喜来	2.4	2.3	2.3	2.1	2.4	2.4	2.3
三陸町吉浜	2.5	2.3	2.8	2.5	2.3	2.5	2.2
市外	3.0	3.0	3.7	3.0	2.6	2.8	3.1

◇設問

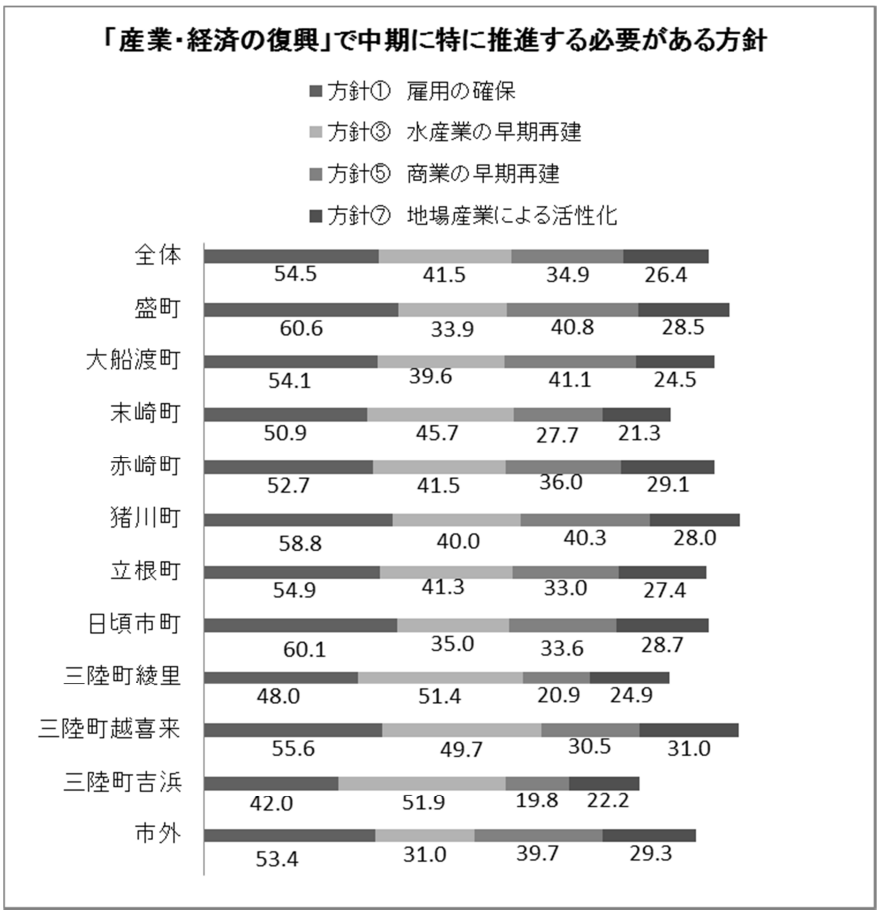
問８（１）　復興の本格化に向けて、特に推進する必要があるとお考えになる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 最も推進する必要があるとされているのは「方針①　雇用の確保」で 54.5%、次いで「方針③　水産業の早期再建」が 41.5%、「方針⑤　商業の早期再建」が 34.9%、「方針⑦　地場産業による活性化」が 26.4%となっている。
- その他の具体的内容(25 人が記載)としては、道路など産業基盤となる施設の整備、商店街の再建など商業振興があげられている。



- 特に推進する必要性が高いとされた4つの方針について、地区別の割合をみたものが右のグラフである。
- 「方針①　雇用の確保」は、盛町、猪川町、日頃市町で重視されている。
- 「方針③　水産業の早期再建」は、末崎町、三陸町綾里、三陸町越喜来、三陸町吉浜で重視されている。
- 「方針⑤　商業の早期再建」は、盛町、大船渡町、猪川町、市外で重視されている。
- 「方針⑦　地場産業による活性化」は、盛町、赤崎町、猪川町、日頃市町、三陸町越喜来、市外で重視されている。

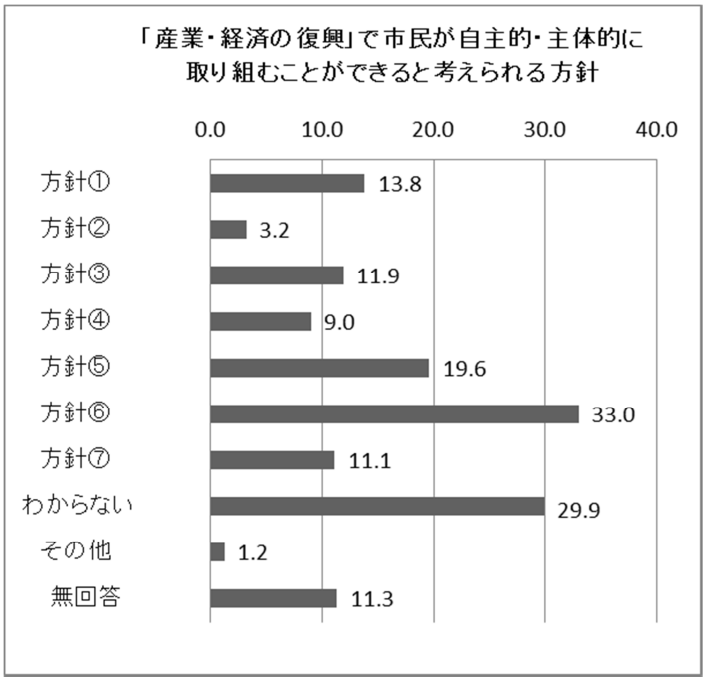


◇設問

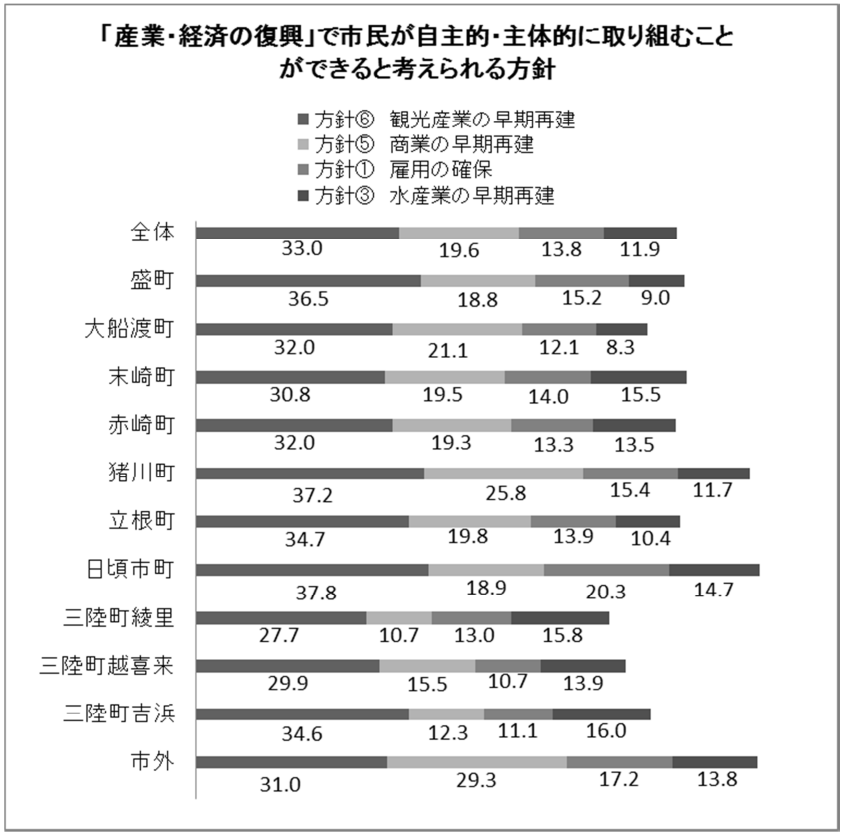
問８（２）　市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針は、「方針⑥　観光産業の早期再建」が最も多く33.0%、次いで「「わからない」が 29.9%、「方針⑤　商業の早期再建」が 19.6%、「方針①　雇用の確保」が 13.8%、「方針③　水産業の早期再建」が 11.9%となっている。
- 問8（1）の結果と合わせると、「方針⑥　観光産業の早期再建」は、市民の自主的・主体的取組みによって進めることが認識されていることがわかる。
- その他の具体的内容（28 人が記載）としては、市が進めるべきという指摘が多いが（19 人が記載）、地域が協力した取組み、自らの主体的取組みなどがあげられている。



- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられている方針４つについて、地区別の割合をみたものが、右のグラフである。
- 「方針⑥　観光産業の早期再建」は、盛町、猪川町、日頃市町で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針⑤　商業の早期再建」は、猪川町、市外で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針①　雇用の確保」は、盛町、猪川町、日頃市町、市外で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針③　水産業の早期再建」は末崎町、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来、三陸町吉浜、市外で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。



◇設問

問８（３）　産業・経済の復興へのご意見やご提案をお書きください。（自由回答）

◇結果

- 495 人（回収票の 17.4%）の方々から、ご意見・ご提案をいただいた。
- うち 111 人が雇用の確保、107 人が商業の早期再建、80 人が水産業の早期再建に係る内容について記載していた。

産業・経済の復興への主なご意見、ご要望の概要

項　目	主なご意見などの概要
方針① 雇用の確保について	・企業誘致、起業支援により雇用の確保を ・若者が働くことのできる雇用の確保を ・安定して働くことのできるよう雇用条件の改善を
方針② 産業基盤の再建について	・広域的な道路ネットワークの強化を ・コンテナの定期航路の再開の必要性には疑問
方針③ 水産業の早期再建について	・水産のまちとしての早期再建、活性化を ・新魚市場の早期完成を
方針④ 農林業のあり方検討について	・農業振興策の推進を
方針⑤ 商業の早期再建について	・大型スーパーの立地など買物の利便性確保を ・大船渡駅周辺地区の復興を進めてほしい ・浸水する場所に商店を集約することには疑問 ・グループ補助金の要件の改善を
方針⑥ 観光産業の早期再建について	・イベントの実施など大船渡のアピールを ・宿泊施設や観光施設の整備を ・道路など交通アクセスの改善を
方針⑦ 地場産業の活性化について	・地場の特産品の開発や販路拡大を
市への要望など	・復興をもっと早く進めてほしい ・市民意見を取り入れて進めてほしい ・新たな観点から活性化を検討してほしい

５．「③都市基盤の復興」について

【都市基盤の復興の方針】

方針①　被災した都市基盤施設を早期に復旧するとともに、防災機能向上のために必要な整備を行います。

方針②　土地利用のあり方を検討のうえ見直します。

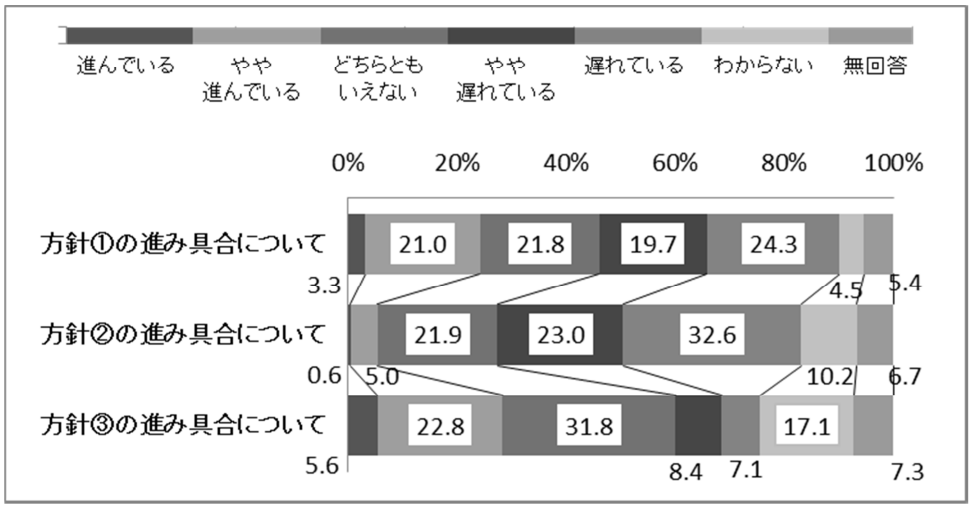
方針③　情報通信基盤の整備を進めます。

◇設問

問９　都市基盤に係る前期（平成 23～25 年度）の復興の進み具合についてお答えください。

◇結果

- 「方針①　都市基盤施設の早期復旧」は、やや進んでいるという評価はあるものの、遅れているという評価も多い。
- 「方針②　土地利用のあり方検討」は、遅れていると評価されている。
- 「方針③　情報通信基盤の整備」は、比較的進んでいると評価されている。



■「都市基盤の復興」の地区別５段階評価

- 全体では、「方針③　情報通信基盤の整備」の評価が比較的高く、「方針②　土地利用のあり方検討」が低い評価となっている。
- 「方針①　都市基盤施設の早期復旧」は、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針②　土地利用のあり方」は、赤崎町で比較的低い評価となっており、日頃市町、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針③　情報通信基盤の整備」は、日頃市町、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。

「都市基盤の復興」の5段階評価（地区別）

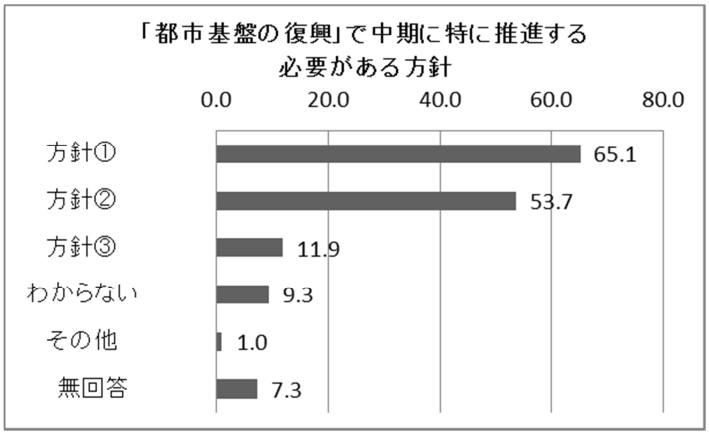
地区	方針① 都市基盤施設の早期復旧	方針② 土地利用のあり方検討	方針③ 情報通信基盤の整備
全体	2.4	1.9	2.9
盛町	2.5	1.9	2.8
大船渡町	2.3	1.8	2.8
末崎町	2.4	1.8	2.9
赤崎町	2.3	1.7	2.8
猪川町	2.5	2.0	2.9
立根町	2.5	2.0	2.8
日頃市町	2.4	2.1	3.1
三陸町綾里	2.4	1.9	3.0
三陸町越喜来	2.4	1.9	3.0
三陸町吉浜	2.7	2.2	3.2
市外	2.6	2.1	3.5

◇設問

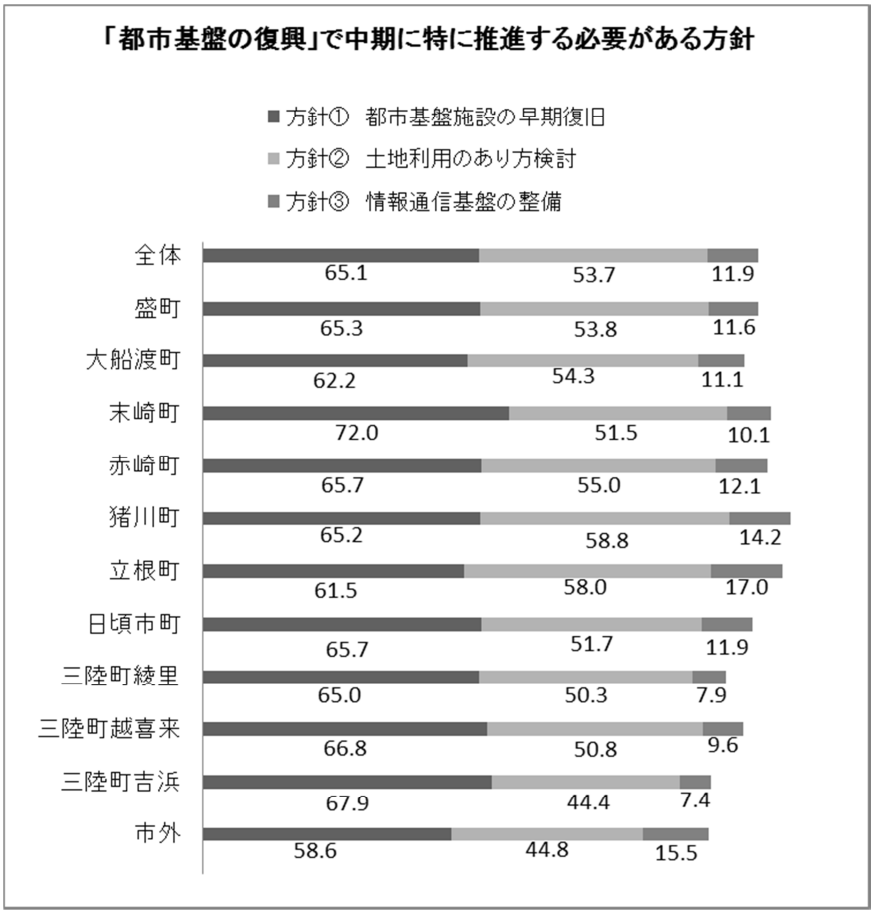
問 10（1）　復興の本格化に向けて、特に推進する必要があるとお考えになる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 最も推進する必要があるとされているのは「方針①　都市基盤施設の早期復旧」で65.1%、次いで「方針②　土地利用のあり方検討」が53.7%となっている。
- その他の具体的内容（21人が記載）としては、幹線道路や公共交通の整備、住宅再建があげられている。



- 方針ごとに、地区別の割合をみたものが右のグラフである。
- 「方針①　都市基盤施設の早期復旧」は末崎町、三陸町吉浜で重視されている。
- 「方針②　土地利用のあり方検討」は、猪川町、立根町で重視されている。
- 「方針③　情報通信基盤の整備」は、猪川町、立根町、市外で重視されている。

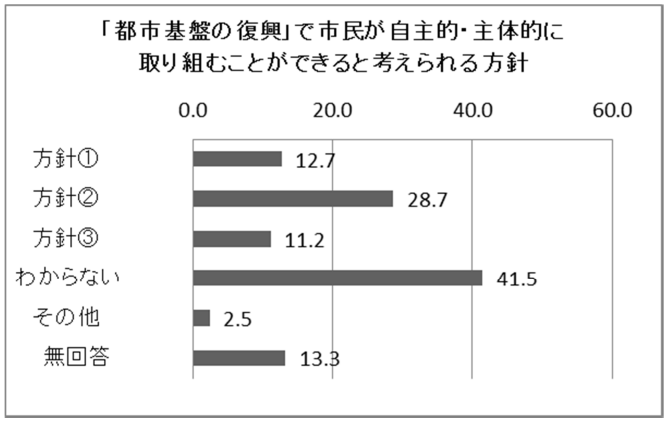


◇設問

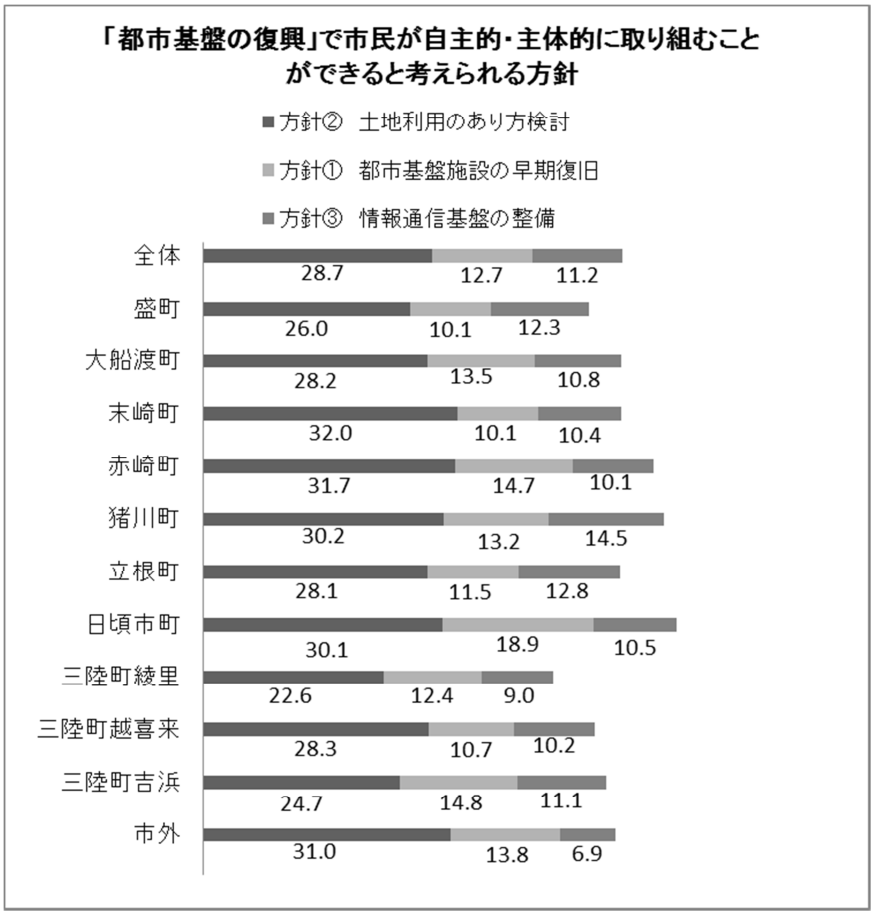
問 10（２）　市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針は、「わからない」が最も多く 41.5%、次いで「方針②　土地利用のあり方検討」が 28.7%、「方針①　都市基盤施設の早期復旧」が 12.7%となっている。
- 問 10（1）の結果と合わせると、特に推進する必要がある方針の「方針②　土地利用のあり方検討」について、市民と市がともに取り組むこととして認識されていることがわかる。
- その他の具体的内容（46 人が記載）としては、市が進めるべきという指摘が多いが（37 人が記載）、地域での協力した取り組みや地域の人材活用などがあげられている。



- 各方針について、地区別の割合をみたものが、右のグラフである。
- 「方針②　土地利用のあり方検討」は、末崎町、赤崎町、市外で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針①　都市基盤施設の早期復旧」は、赤崎町、日頃市町、三陸町吉浜で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針③　情報通信基盤の確保」は、猪川町、立根町で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。



◇設問

問 10（３）　都市基盤の復興へのご意見やご提案をお書きください。（自由回答）

◇結果

- 485 人（回収票の 17.1％）の方々から、ご意見・ご提案をいただいた。
- うち 258 人が都市基盤の早期復旧、124 人が土地利用のあり方検討に係る内容について記載していた。

都市基盤の復興への主なご意見、ご要望の概要

項　目	主なご意見などの概要
方針① 都市基盤施設の早期復旧などについて	・避難路として機能する道路の整備を ・道路渋滞の解消を ・路線バス、鉄道の早期復旧を
方針② 土地利用のあり方検討について	・津波からの安全が確保されたまちづくりを ・大船渡駅周辺地区のまちづくりの推進を ・子どもたちの遊び場や公園整備を ・浸水想定区域の土地利用の検討を
方針③ 情報通信基盤の整備について	・防災情報の提供手段の充実を ・ラジオ放送の受信環境の改善を
市への要望など	・復興のスピードアップを ・市がリーダーシップをとって進めてほしい ・市全体の復興が進むようにしてほしい

６．「④防災まちづくり」について

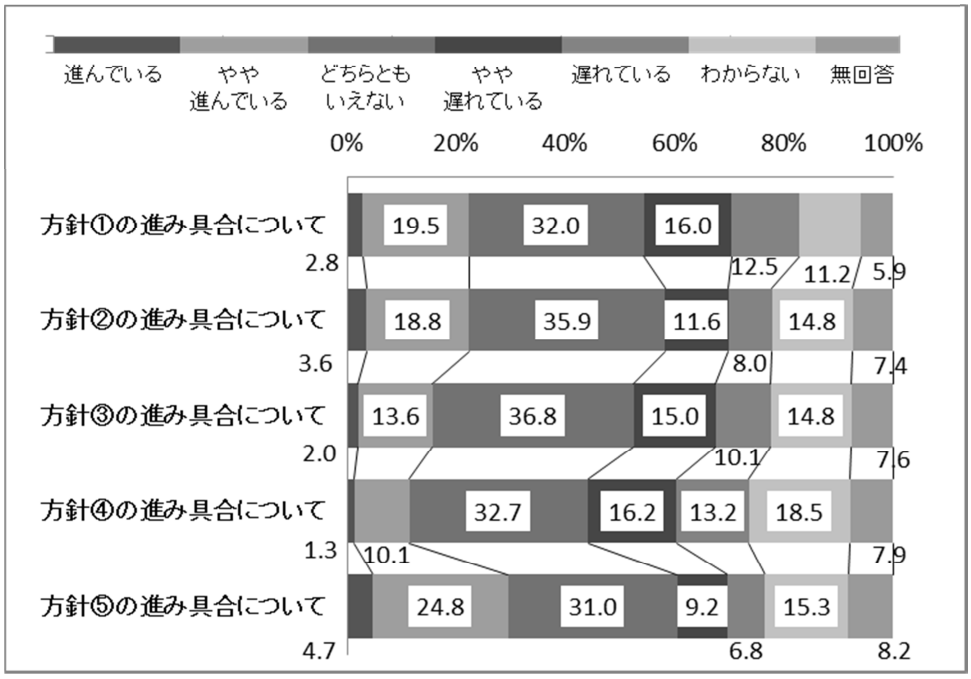
【防災まちづくりの方針】
方針①　今回の災害による教訓を生かし、新たな防災体制を整えます。
方針②　防災教育や防災訓練を積極的に推進します。
方針③　地域コミュニティー機能の維持・強化を図ります。
方針④　ライフラインや交通・物流などの機能を強化します。
方針⑤　広域的な観点を重視した災害時の応援・サポート体制を整えます。

◇設問

問11　防災まちづくりに係る前期（平成23～25年度）の復興の進み具合についてお答えください。

◇結果

- いずれの方針も、どちらともいえないとの評価が30%以上となっている。
- 「方針⑤　災害時の応援・サポート体制の整備」「方針②　防災教育や防災訓練の推進」は、ある程度進んでいると評価されている。
- 「方針①　新たな防災体制の整備」は、進んでいるという評価がある一方、遅れているとも評価されている。
- 「方針④　ライフラインや交通・物流などの機能強化」は、遅れているとの評価が多い。



■「防災まちづくり」の地区別５段階評価

- 全体では、「方針⑤　災害時の応援・サポート体制の整備」「方針②　防災教育や防災訓練の推進」が、比較的高い評価となっている。
- 「方針①　新たな防災体制の整備」は、市内各地区でほぼ同程度の評価であるが、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針②　防災教育や防災訓練の推進」は、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針③　地域コミュニティーの維持・強化」は、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針④　ライフラインや交通・物流などの機能強化」は、猪川町、三陸町吉浜、市外で比較的高い評価となっている。
- 「方針⑤　災害時の応援・サポート体制の整備」は、盛町、猪川町で比較的高い評価となっている。

「防災まちづくり」の5段階評価（地区別）

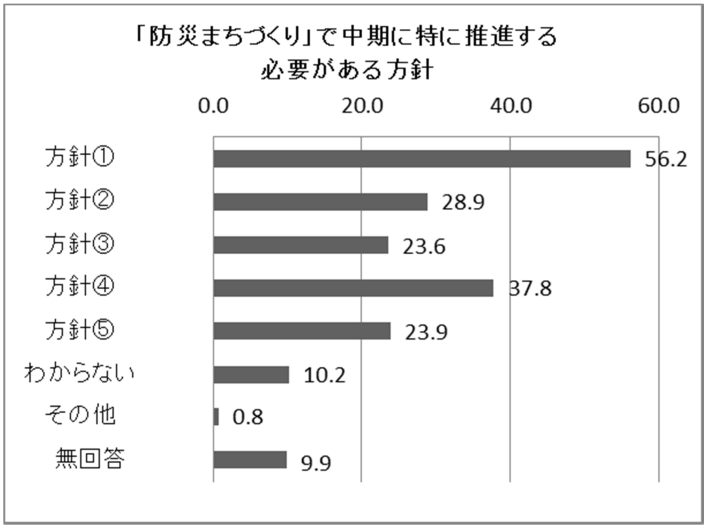
地区	方針① 新たな防災体制の整備	方針② 防災教育や防災訓練の推進	方針③ 地域コミュニティーの維持・強化	方針④ ライフラインや交通・物流などの機能強化	方針⑤ 災害時の応援・サポート体制の整備
全体	2.6	2.7	2.5	2.3	2.8
盛町	2.7	2.8	2.6	2.4	3.0
大船渡町	2.5	2.7	2.5	2.4	2.8
末崎町	2.7	2.7	2.6	2.2	2.8
赤崎町	2.6	2.7	2.4	2.3	2.7
猪川町	2.7	2.7	2.6	2.5	3.0
立根町	2.6	2.7	2.6	2.3	2.8
日頃市町	2.7	2.7	2.5	2.3	2.9
三陸町綾里	2.7	2.8	2.6	2.4	2.9
三陸町越喜来	2.6	2.8	2.4	2.4	2.9
三陸町吉浜	2.7	2.9	2.7	2.6	2.8
市外	3.1	3.1	3.0	2.5	2.9

◇設問

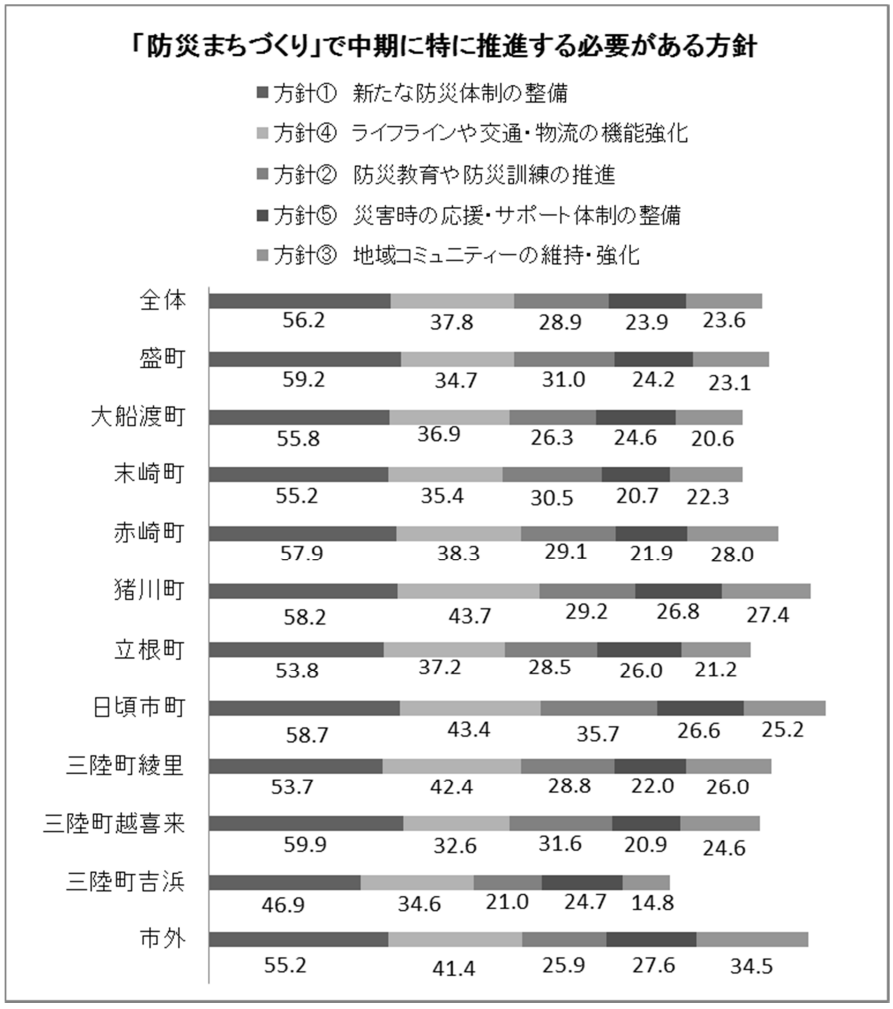
問 12（1）　復興の本格化に向けて、特に推進する必要があるとお考えになる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 最も推進する必要があるとされているのは「方針①　新たな防災体制の整備」で56.2%、次いで「方針④　ライフラインや交通・物流などの機能強化」が37.8%、「方針②　防災教育や防災訓練の推進」が28.9%となっている。
- 「方針③　地域コミュニティー機能の維持・強化」「方針⑤　広域的な災害時の応援・サポート体制の整備」も、それぞれ24%程度となっており、防災まちづくりに係る方針は、いずれも重視されていることがわかる。
- その他の具体的内容（17人が記載）としては、防災計画見直しや防災無線の整備などがあげられている。



- 方針ごとに、地区別の割合をみたものが右のグラフである。
- 「方針①　新たな防災体制の整備」は、盛町、猪川町、三陸町越喜来で重視されている。
- 「方針④　ライフラインや交通・物流などの機能強化」は、猪川町、日頃市町、三陸町綾里、市外で重視されている。
- 「方針②　防災教育や防災訓練の推進」は、日頃市町、三陸町越喜来で重視されている。
- 「方針⑤　災害時の応援・サポート体制の整備」は、猪川町、立根町、日頃市町、市外で重視されている。
- 「方針③　地域コミュニティーの維持・強化」は、赤崎町、猪川町、三陸町綾里、市外で重視されている。

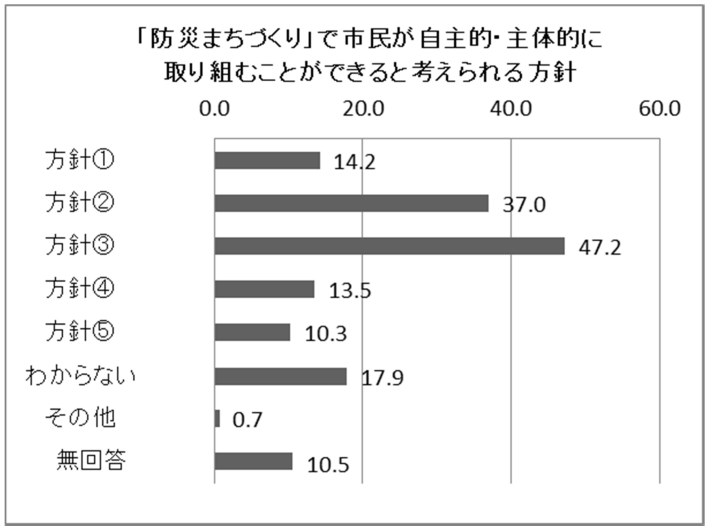


◇設問

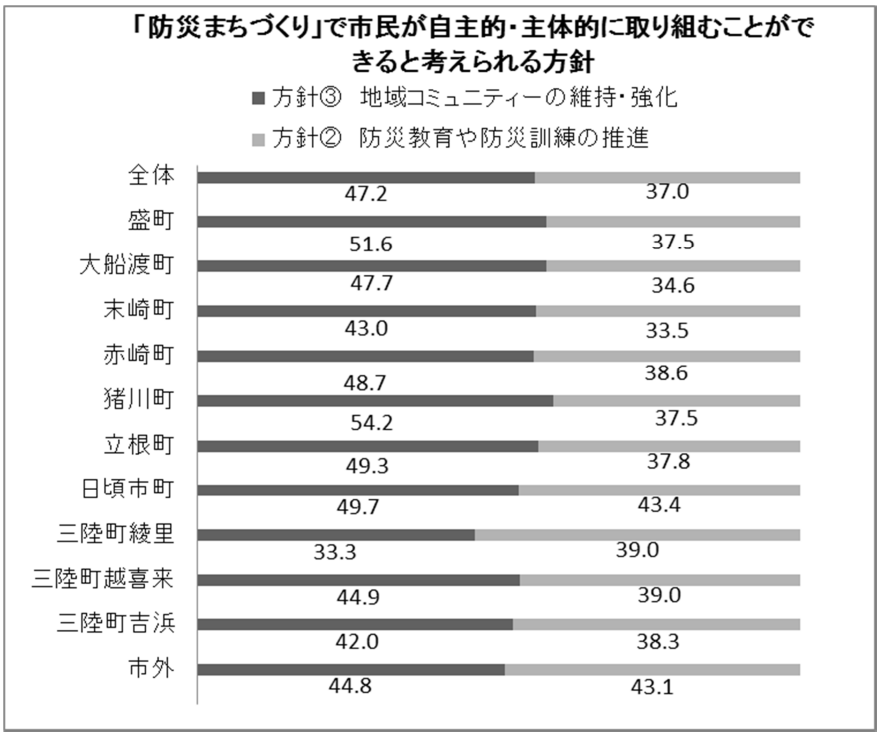
問 12（２）　市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針はなんですか。（複数回答）

◇結果

- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられる方針は、「方針③　地域コミュニティーの維持・強化」が最も多く47.2％、次いで「方針②　防災教育や防災訓練の推進」が 37.0％となっている。
- 問 12(1)の結果と合わせると、市が「方針①　新たな防災体制の整備」、「方針④ ライフラインや交通・物流などの機能強化」を進め、「方針③　地域コミュニティー機能の維持・強化」「方針②　防災教育や防災訓練の推進」については、市民が自主的・主体的に取り組むなど、役割分担が認識されていることがわかる。
- その他の具体的内容（15 人が記載）としては、近隣での話し合いや災害に備えた備蓄などがあげられている。



- 市民が自主的・主体的に取り組むことができると考えられている方針2つについて、地区別の割合をみたものが、右のグラフである。
- 「方針③　地域コミュニティーの維持・強化」は、盛町、猪川町で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。
- 「方針②　防災教育や防災訓練の推進」は、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来、市外で、市民が取り組むことができると考える割合が高い。



◇設問

問 12（３）　防災まちづくりへのご意見やご提案をお書きください。（自由回答）

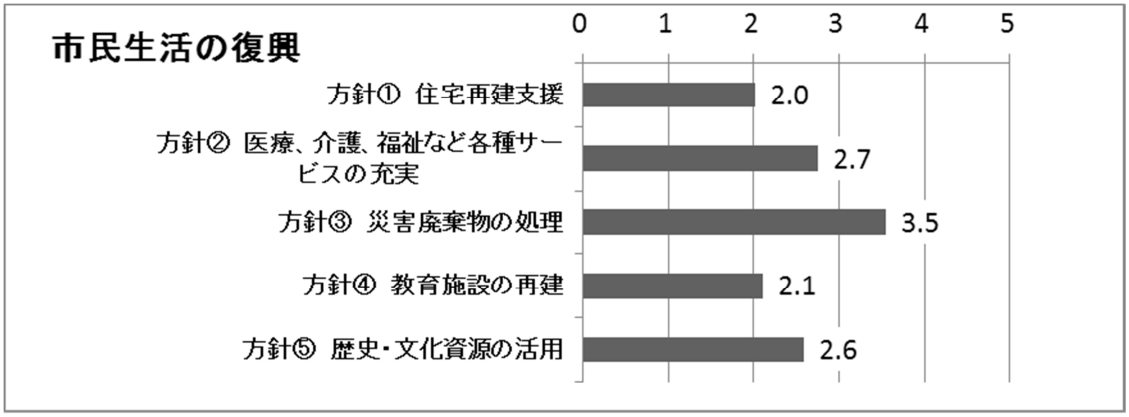
◇結果

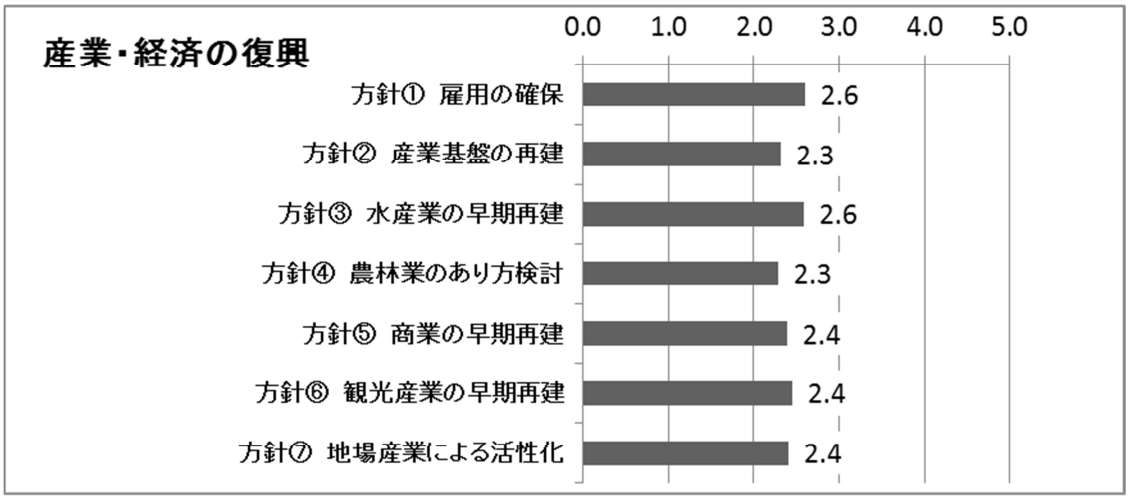
- 434 人（回収票の 15.3%）の方々から、ご意見・ご提案をいただいた。
- うち 116 人が防災教育や防災訓練の推進、96 人がライフラインや交通・物流などの機能強化、88 人が新たな防災体制の整備、85 人が地域コミュニティー機能の維持・強化について記載していた。

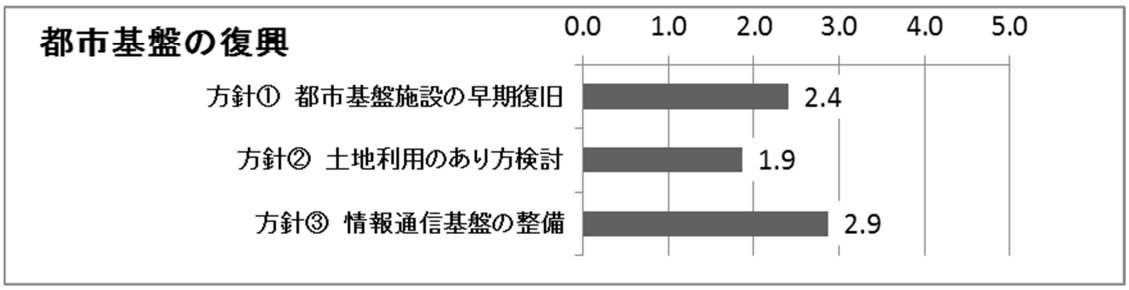
防災まちづくりへの主なご意見、ご要望の概要

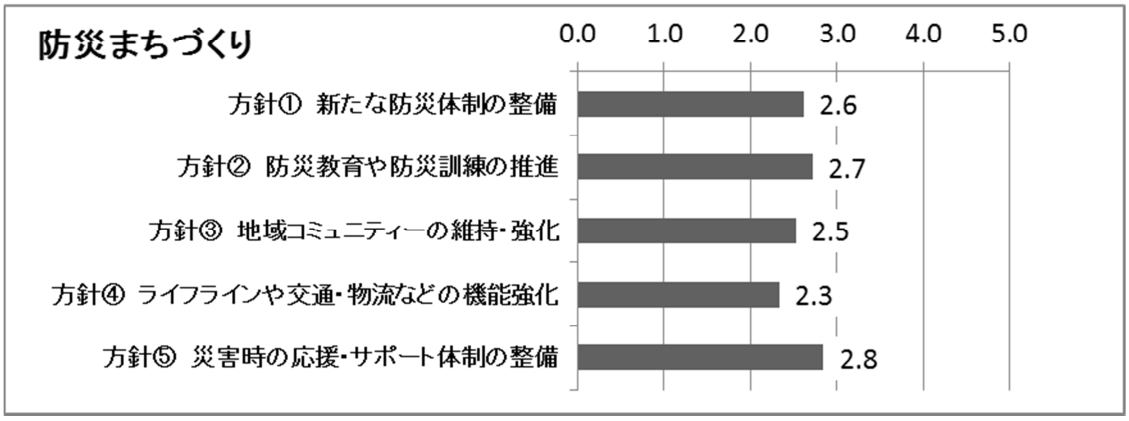
項　目	主なご意見などの概要
方針① 新たな防災体制の整備について	・災害に備えた体制の整備を ・避難場所や避難路の指定を ・避難経路の明示を ・防災センターを安全な場所に建設を ・災害情報の伝達の徹底を
方針② 防災教育や防災訓練の推進について	・子ども達への防災教育の推進を ・防災訓練の実施や避難計画の作成を ・今回の災害の教訓を生かした防災教育や訓練を
方針③ 地域コミュニティー機能の維持・強化について	・災害時要援護者への支援体制など、助け合えるネットワークの構築を ・地域での自主防災組織の充実を ・住宅再建先での新たなコミュニティーづくりが必要 ・避難所となる公民館の整備支援を
方針④ ライフラインや交通・物流などの機能強化について	・災害時に機能する道路の整備を ・食糧や物資の備蓄の充実を ・災害時の電力確保を
方針⑤ 災害時の応援・サポート体制の整備について	・自治体間の交流促進を ・災害時医療の充実を
市への要望など	・住宅は安全な高台などに立地するよう土地利用の徹底を ・安心して住めるまちづくりを進めてほしい

＜再掲　復興の進捗に関する５段階評価＞

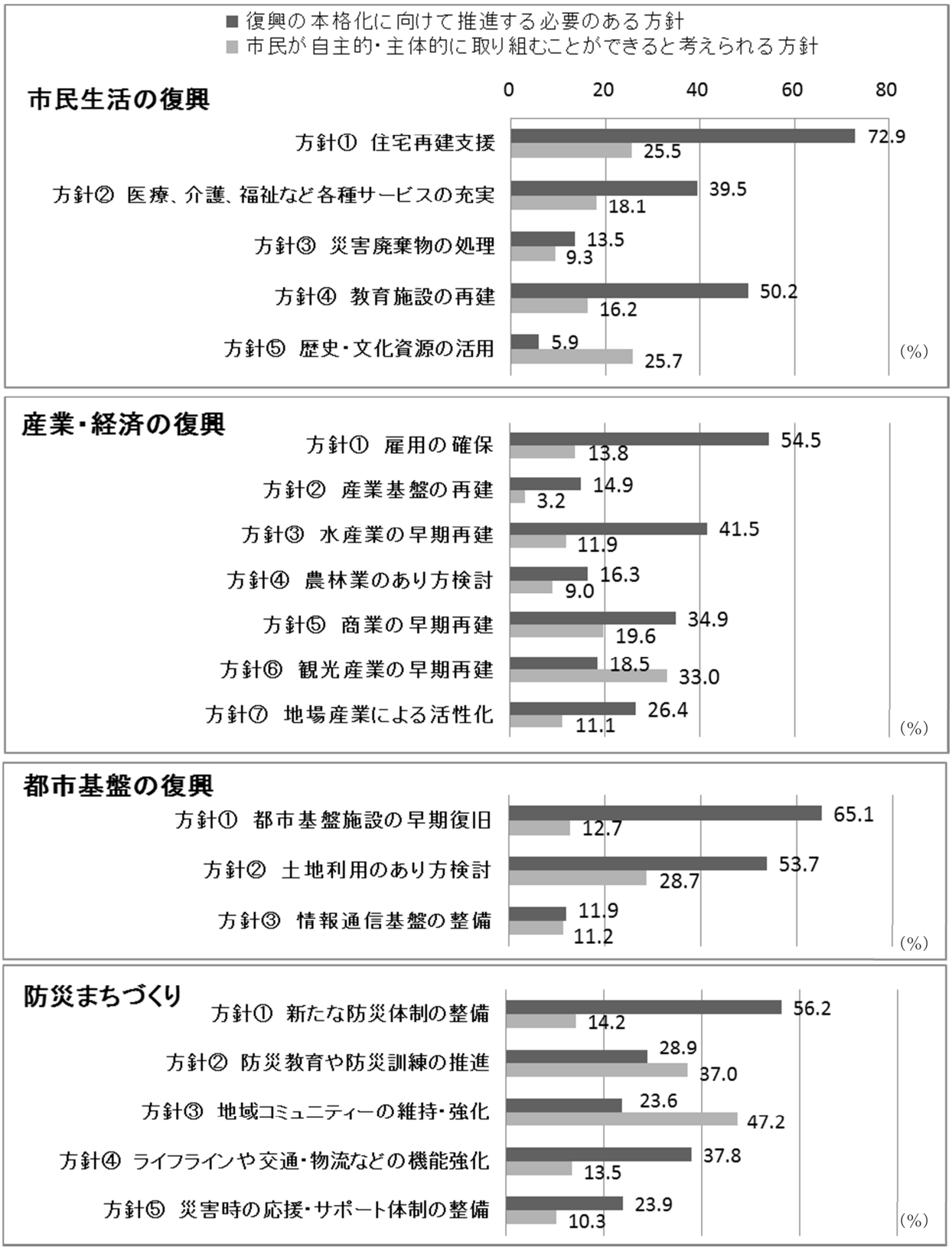








＜再掲　復興の本格化に向けて推進すべき方針と市民が自主的・主体的に取り組むことができる方針＞



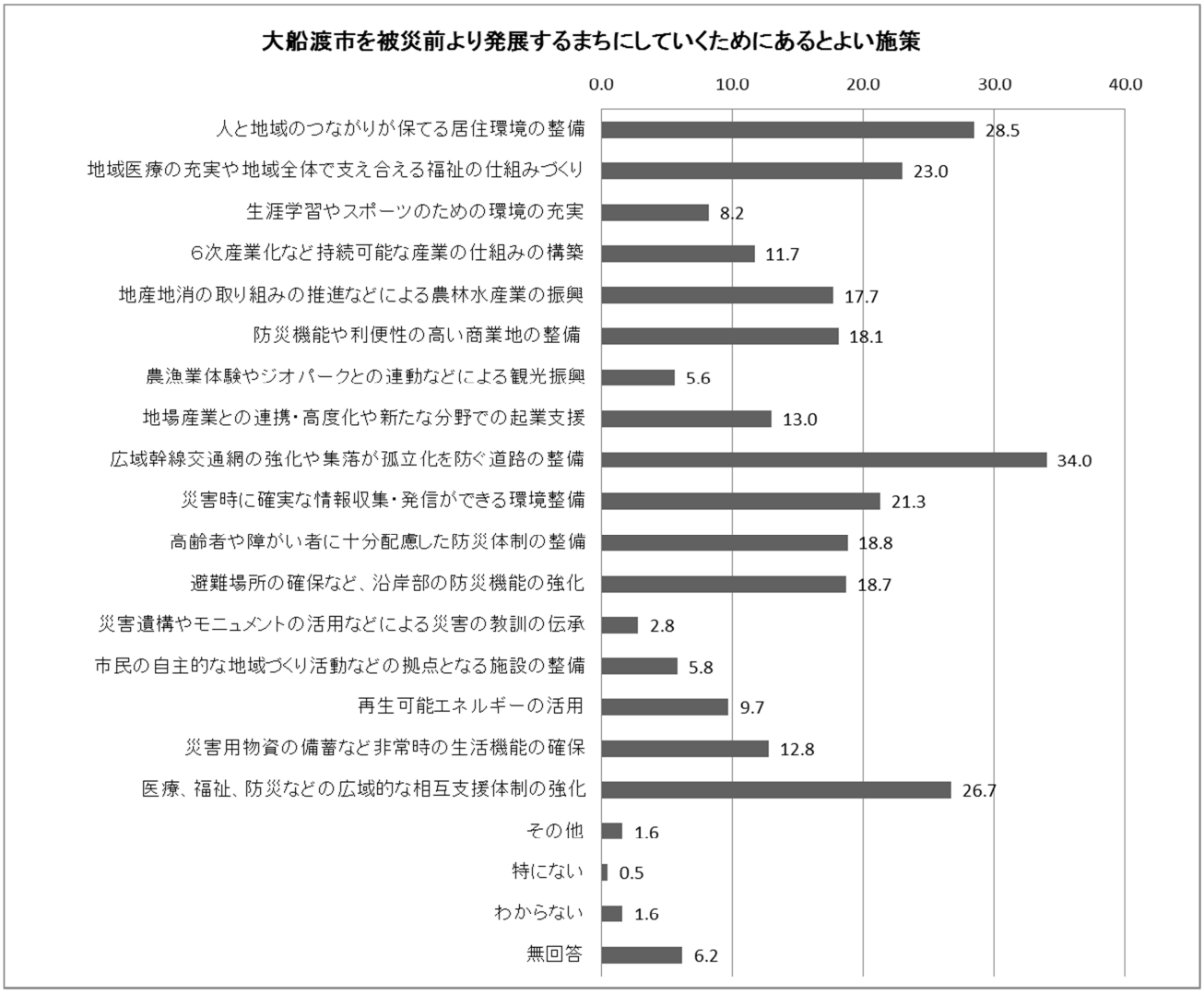
７．復興の本格化に向けてのお考えについて

◇設問

問 13　大船渡市を被災前よりも発展するまちとしていくために、どのような施策があるとよいと思いますか。（３つ以内）

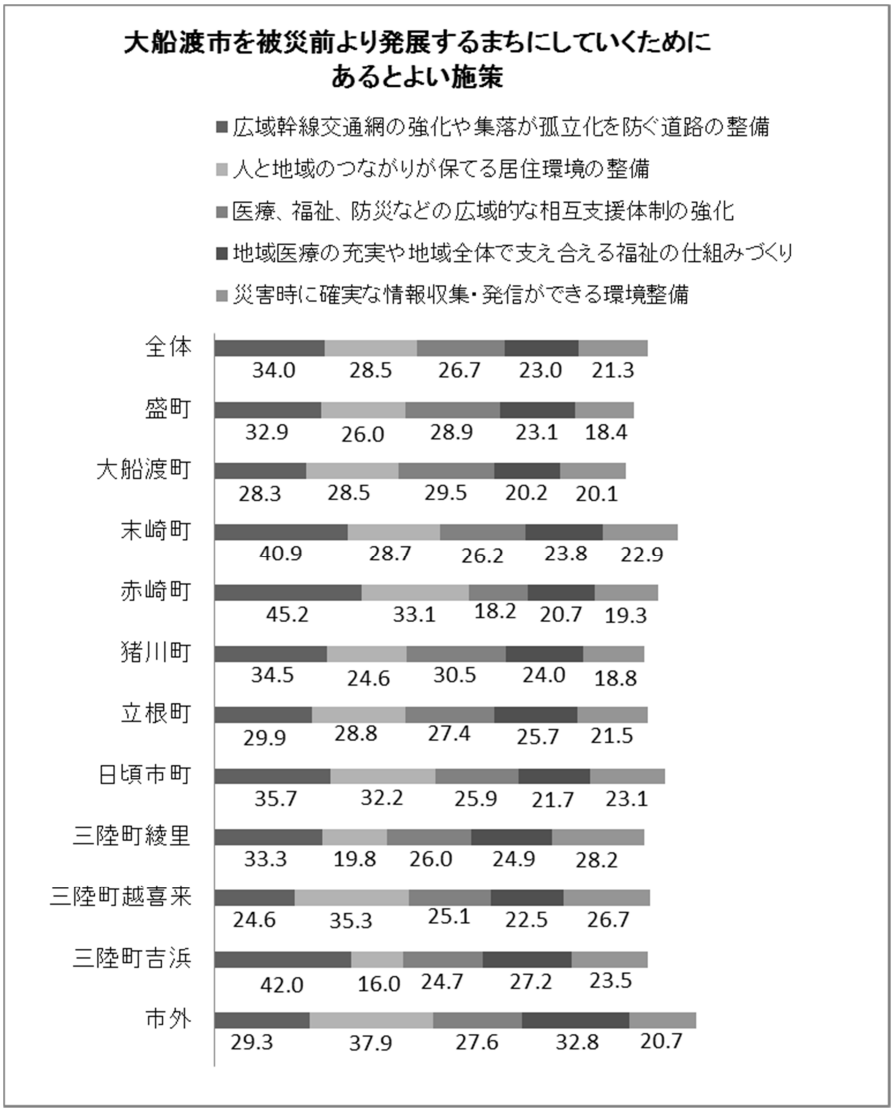
◇結果

- 「広域幹線交通網の強化や集落の孤立化を防ぐ道路整備」が 34.0%、次いで「人と地域のつながりが保てる居住環境の整備」が 28.5%、「医療、福祉、防災などの広域的な相互支援体制の強化」が 26.7%、「地域医療の充実や地域全体で支え合える福祉の仕組みづくり」が 23.0%、「災害時に確実な情報収集・発信ができる環境整備」が 21.3%となっている。
- 「高齢者や障がい者に十分配慮した防災体制の整備」「避難場所の確保など、沿岸部の防災機能の強化」「防災機能や利便性の高い商業地の整備」「地産地消の取り組みの推進などによる農林水産業の振興」が、それぞれ 18%前後となっている。
- 市を被災前より発展させるためには、ハード面として道路網の整備や情報収集・発信できる環境整備、避難場所確保など、安全性に係る施策が求められており、ソフト面では地域のつながりや支え合い、広域的な相互支援など、共助の体制づくりに係る施策が重要視されている。
- また、商業地の整備や農林水産業の振興といった産業振興に係る施策も求められている。

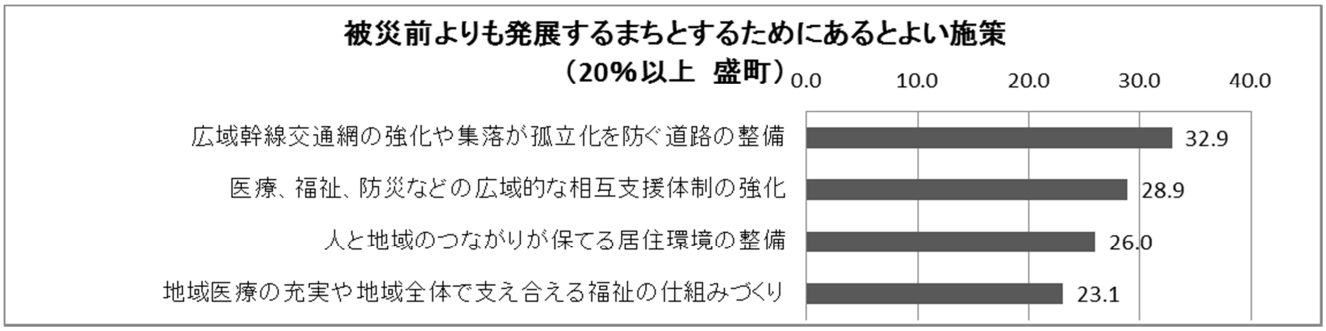


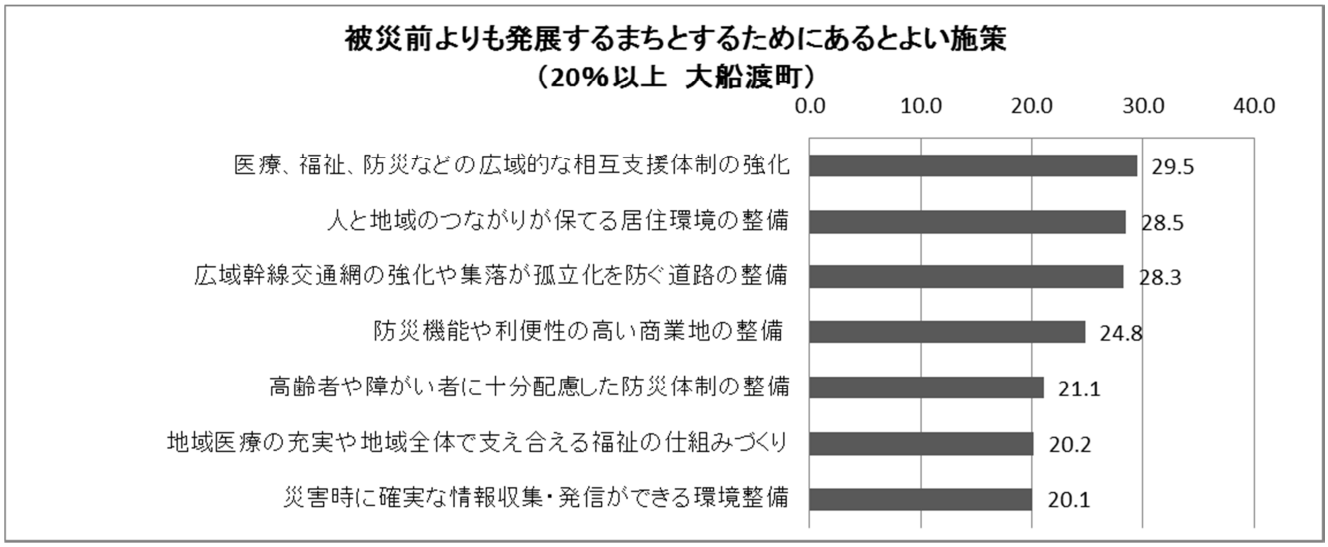
・　その他の具体的内容（43　人が記載）としては、企業誘致や雇用の確保、人口減少の抑制、子どもたちの教育環境の整備、住宅再編支援、公共交通の整備、防災対策の推進などがあげられている。

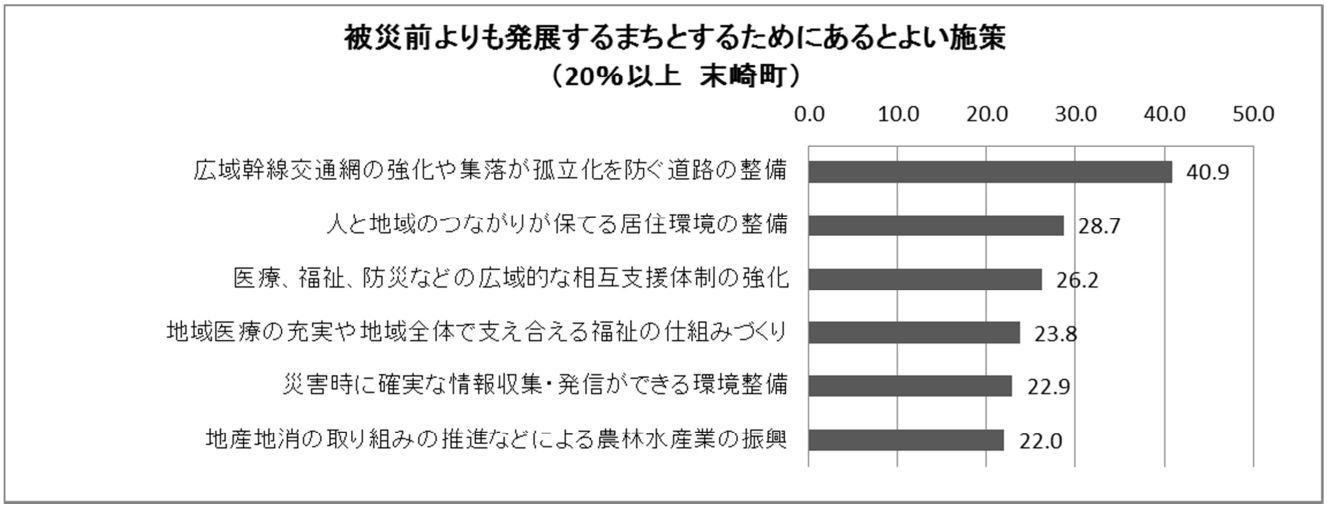
・　全体集計で20％以上となった上位５施策について、地区別の割合をみたものが下のグラフである。
・「広域幹線交通網の強化や集落の孤立化を防ぐ道路整備」は、末崎町、赤崎町、三陸町吉浜で必要とする割合が高い。
・「人と地域のつながりが保てる居住環境の整備」は、赤崎町、日頃市町、三陸町越喜来、市外で必要とする割合が高い。
・「医療、福祉、防災など広域的な相互支援体制の強化」は、大船渡町、猪川町で必要とする割合が高い。
・「地域医療の充実や地域全体で支え合える福祉の仕組みづくり」は、立根町、三陸町綾里、三陸町吉浜、市外で必要とする割合が高い。
・「災害時に確実な情報収集・発信ができる環境整備」は、日頃市町、三陸町綾里、三陸町越喜来、三陸町吉浜で必要とする割合が高い。



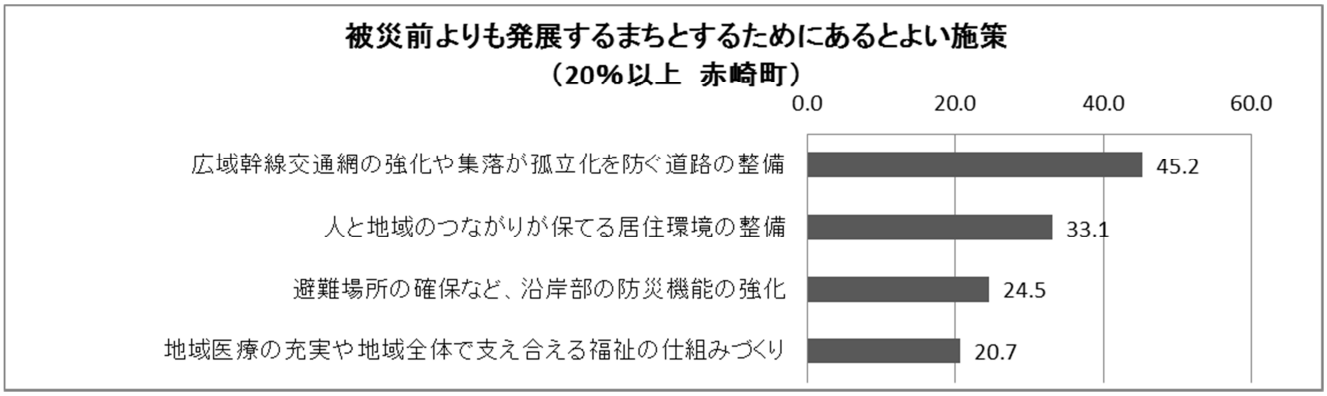
- あるとよいと選択された施策をのうち、地区ごとに 20%以上の割合の施策を示したものが、以下のグラフである。
- 盛町では、市全体と比較して、広域的な相互支援体制の強化を望む割合が高い。
- 大船渡町では、広域的な相互支援体制の強化、居住環境の整備、道路の整備が同程度の割合となっており、次いで商業地の整備が望まれている。
- 末崎町では、道路の整備を望む割合が 40%以上と高く、農林水産業の振興が 20%以上となっている。

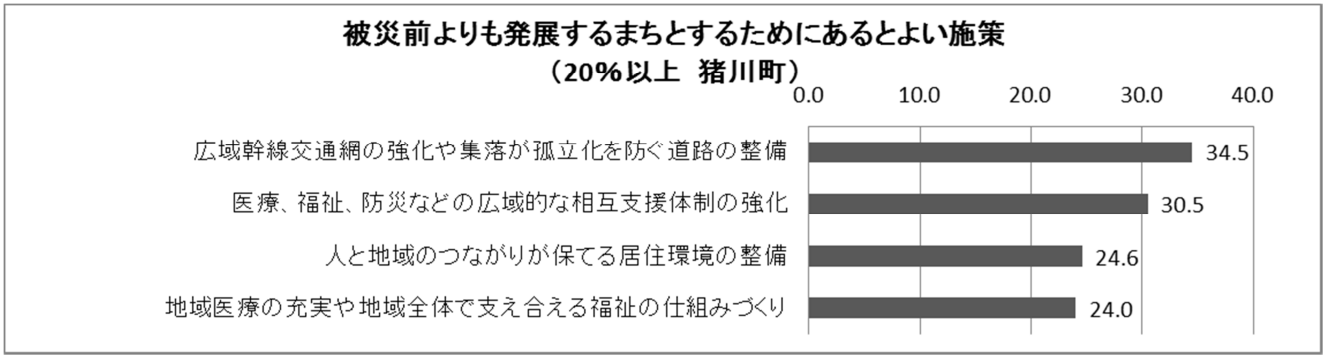


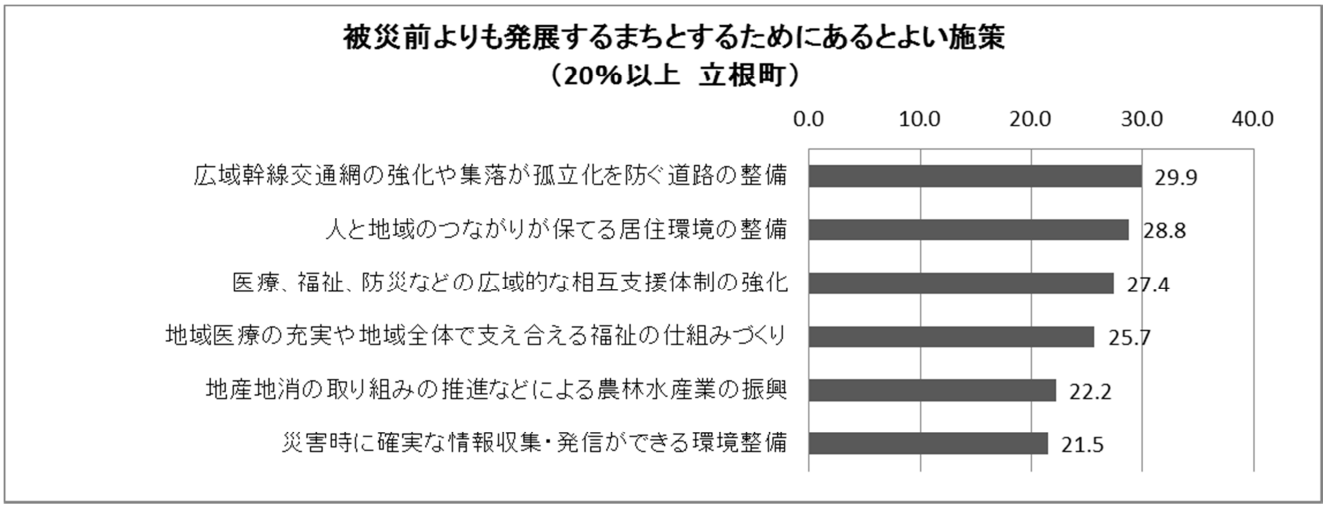




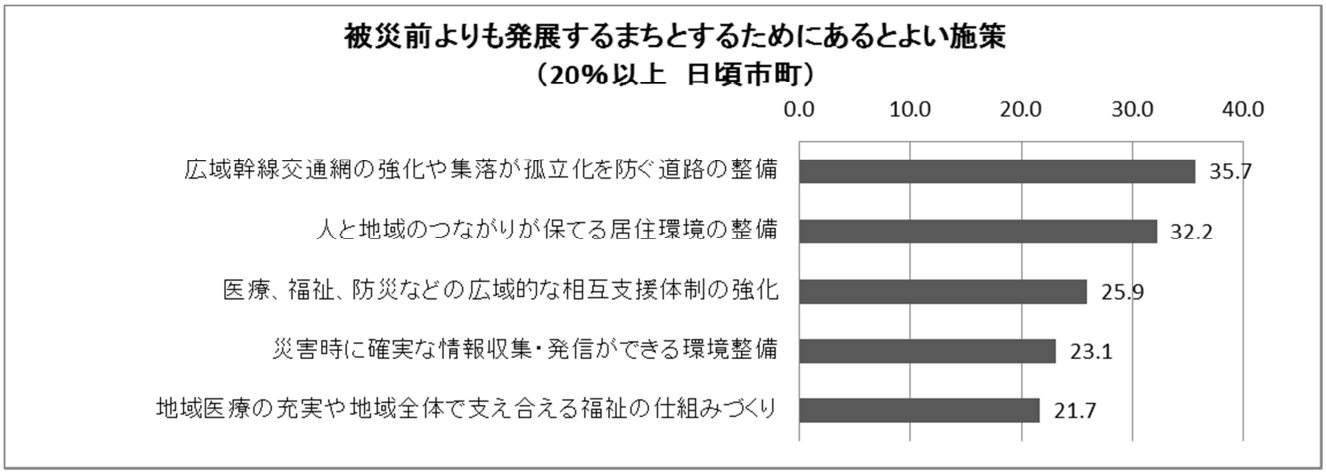
- 赤崎町では、道路の整備、居住環境の整備が、市全体と比較して強く望まれている。
- 猪川町では、広域的な相互支援体制の強化が、市全体と比較して望まれている、
- 立根町では、道路の整備、居住環境の整備、広域的な相互支援体制の強化が、同程度の割合で望まれている。

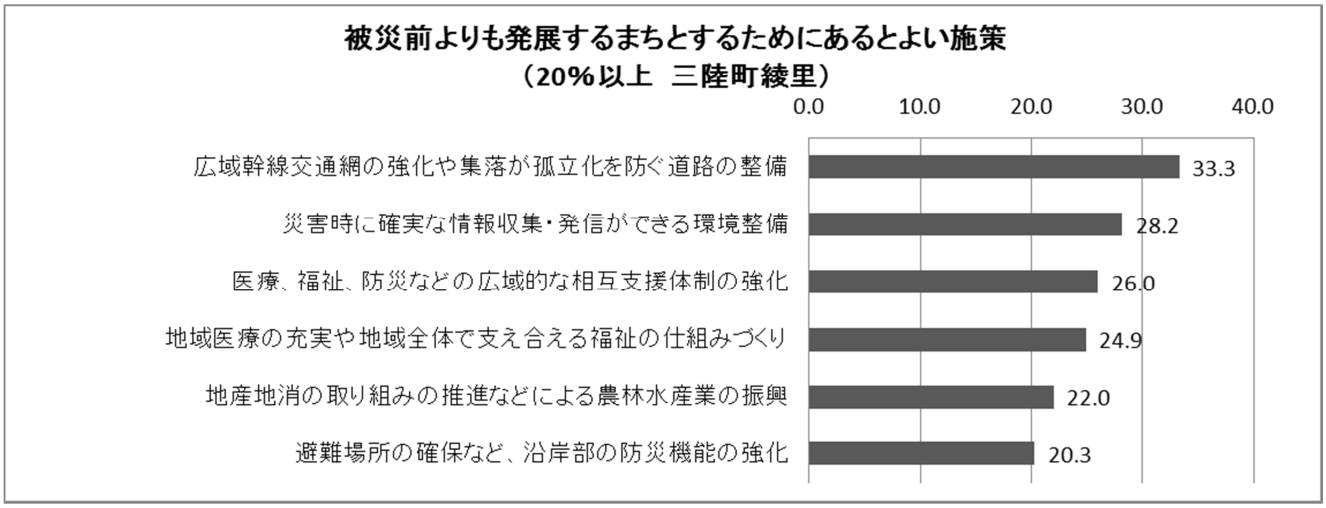


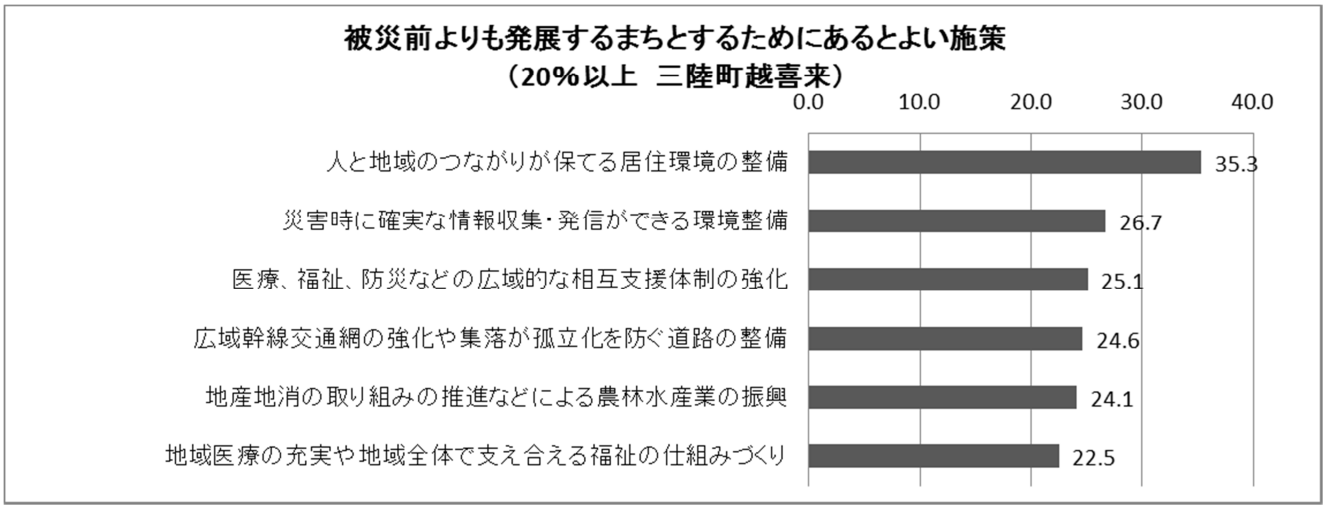




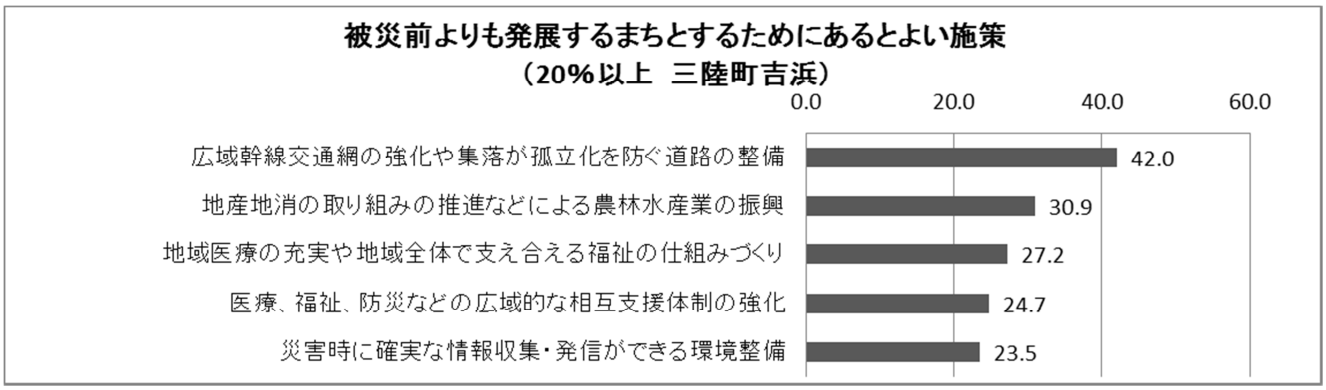
- 日頃市町では、道路の整備、居住環境の整備が望まれている。
- 三陸町綾里では、道路整備に次いで、情報収集・発信ができる環境整備が望まれている。
- 三陸町越喜来では、居住環境の整備が最も望まれており、次いで情報収集・発信ができる環境整備、さらに農林水産業の振興も望まれている。

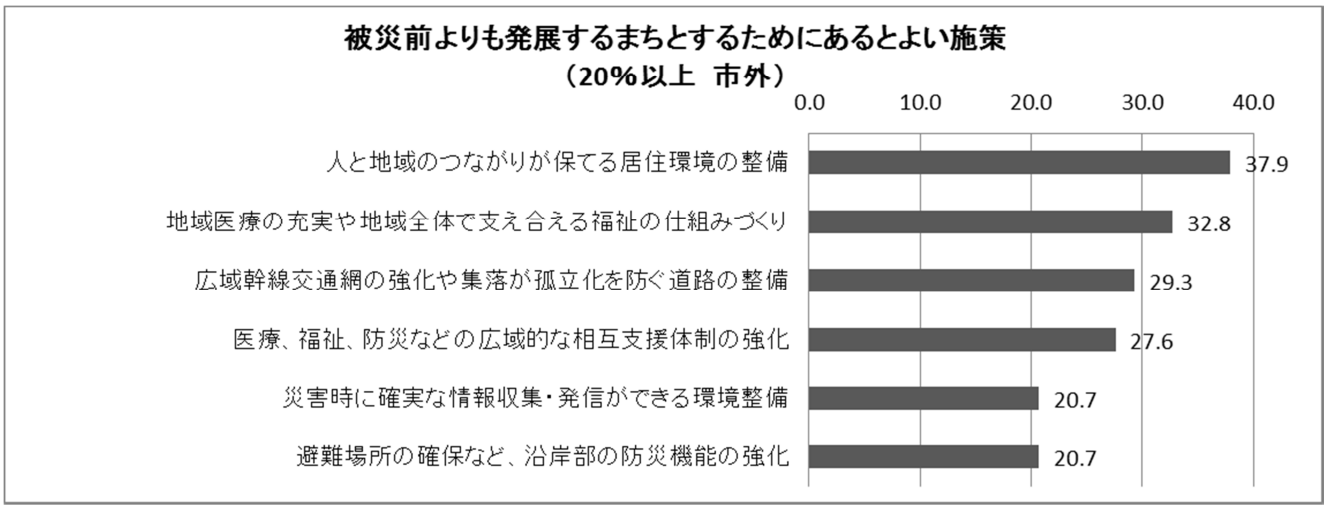






- 三陸町吉浜では、道路の整備が市全体と比較して強く望まれており、次いで農林水産業の振興、福祉の仕組みづくりが望まれている。
- 市外では、居住環境の整備が最も望まれており、次いで福祉の仕組みづくりが道路の整備を上回って望まれている。





８．復興推進に向けてのご意見、ご要望（自由回答）

◇結果

・　782 人（回収票の 27.5%）の方々から、復興推進に向けてのご意見、ご要望をいただいた。

復興推進に向けての主なご意見、ご要望の概要

項　目	主なご意見などの概要
復興推進に向けて	・復興の進捗状況の周知、広報を ・一日も早い復興を望む ・市のリーダーシップが必要 ・国、県の支援が必要 ・高齢化や人口減少に対応した長期展望のある復興を
住宅再建、住環境整備について	・住宅再建支援、住環境整備の推進を ・高台移転の早期実現を ・応急仮設住宅の早期解消を ・災害公営住宅の早期整備を ・支援策の格差の是正を
産業・経済の復興について	・若い世代の雇用の確保を ・商店街の復興、生活の利便性の向上を ・観光振興による賑わい創出を ・漁業の復旧推進を
防災対策の推進について	・避難路、防潮堤の整備など、津波に対する安全性の確保を ・道路整備、内陸部へのアクセス確保を
市民生活の回復について	・子どもたちが伸び伸びと遊べる場所の確保を ・商店街の復興、買い物の利便性確保を ・医療・福祉などの生活支援サービスの充実を ・鉄道復旧やコミュニティバスの整備を
今後のまちづくりに向けて	・活気と魅力あるまちづくりが必要 ・コミュニティーの維持と育成が必要
本アンケートについて	・設問の内容がむずかしい ・アンケート結果を反映して復興を進めてほしい